



成年
コミック

AKANE

小林少年 KOBAYASHISHOWNEN

小林少年



柔らかな壁

やわらかなひだ

成年
コミック

茜新社

柔らかな壁

やわらかなひだ





AKANE COMICS

成年
コミック

KOBAYASHISHOWNEN

小林少年

柔

らり

か

な

嬖

やわらかなひだ





やわ ひだ
柔らかな壁

目次

おとにあわせてうたいおどる	7
やわらかい感触	25
どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞	43
PAGE 16	59
壁に鼠穴	75
さらば旧人 '97	93
かわいい溺壺	109
平らな道	125
無防備な抵抗	143
枕のキモチ	159
魔法使いの天上空間	177

小林少年

おとに あわ せる
う たい お ど





……

嘘でいいの

でも
言っ
てほ
し
い
の



あ
な
た
の
側
に
い
た
い
の
……

ど
ん
な
か
た
ち
で
も
……

い
つ
も
言
っ
て
く
れ
た
で
し
よ

だ
っ
て
……

も
う
……
だ
め
な
の

初めての痛み

愛おしい血

重なる度に熱をおびるカラダと

は、

は、

は、

は、

は、

は...



憶えたての快樂



はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

グッ
ジュッ

グッ
ジュッ

あっ

あっ

あっ
あっ

ふん……

ふんちやう

あっ
あっ
あっ



いくっ

ビク

ビク
ビク
クッ

もう忘れられない……

あなたなしなんて
考えられない



出来ないよ

別れるなんて



クオオ

グ



ホラ
こんなにも
求めてるじや
ない

ク

グ



あなたのしたいことも
あなたの悦ぶことも

させてあげる
してあげる

これからも

他に好きな人が
出来ても……

それでもいい
私の他に
いてもいいの

私は

あなたが
いなくなる
ことが
考えられない

二番目でも
三番目でも
かまわない

あなたと
いる刻さえ
あれば





あんなに嫌がってた
ここだって
あなたのために

ゲブッ



今ではこっちで
だっていけるの

ハア...

ハア...

ムギョウ

下品でしょ
でもいっちゃうの

ム...

お願いだから

…だから

私のこと
好きじゃなくても
いいの

私のこと
考えてくれなくても
いいの

グググ
グググ
グググ

ズブ
ズブ
ズブ

グググ

あ…

ん…





私は人形でも便所でも
あなたの側にいられば







ねエ

気持ちいい？

私とでも
気持ちいいのは
かわらないでしょ

あ、
ほ。

どろどろ

ぐちゃぐちゃ



ダメなの？

んっ

腰をふれば
いい？

こうやって

こうやって

あっ



ねエ気持ちいい?

気持ちいい?

ハアッ

ハアッ

ズン

ハアッ

ズン

ズン



何度でも
使っていいの
私の体を

言われた通り
薬飲んでるから

グググ

グググ

なか
内でも出して
も
平気!!

グググ

ハア

ハア

ハア



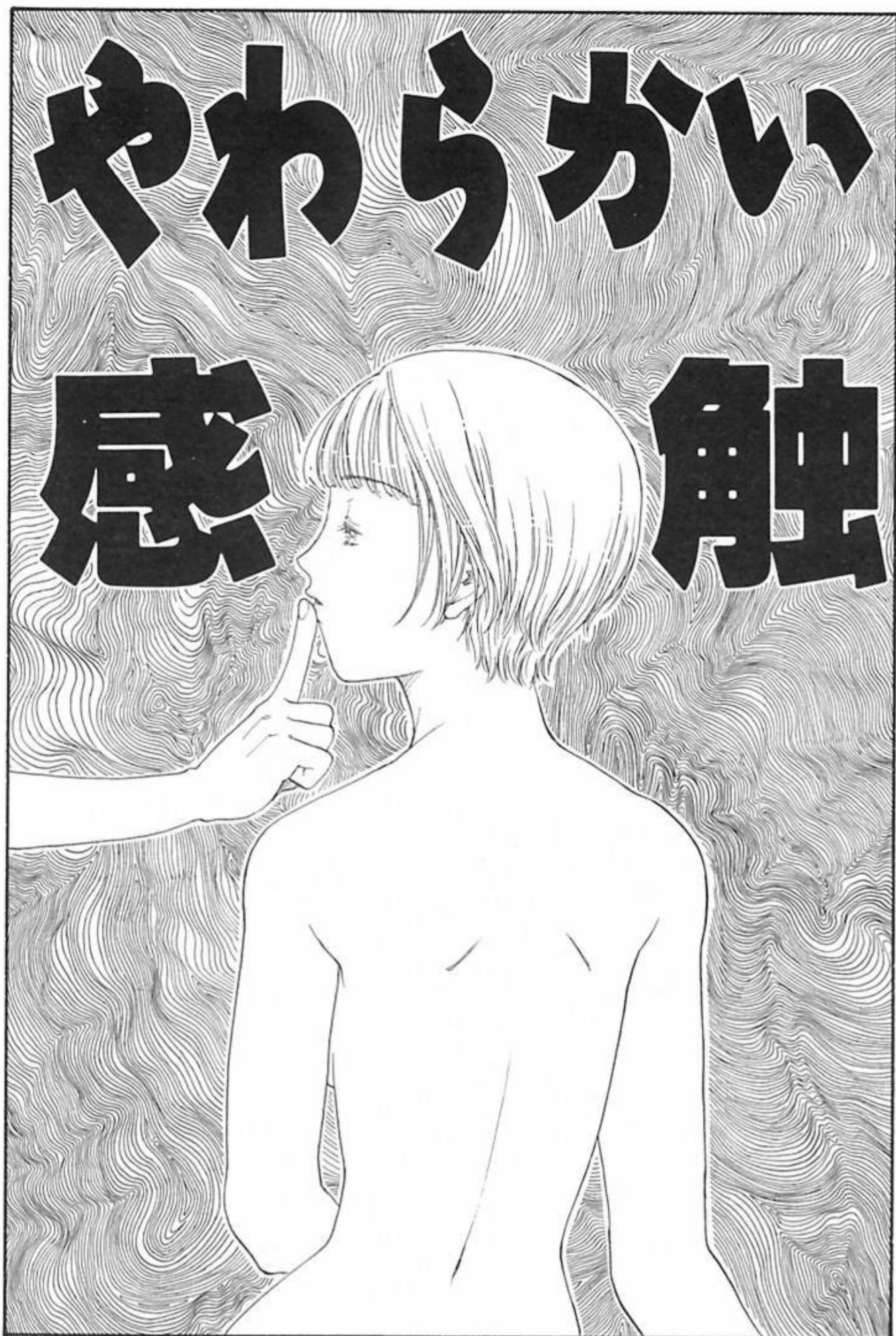


愛してゐるって



踊り続けたいから

あなたの手のヒラで……





やわらかい感触





羞恥心忘れたら
人間じゃないわよ
動物いいえ
ケダモノよ

恥を知りなさい
恥を!!



オレ
発情してんだよ
盛ってんの

ビクッ



うっ
うるさいっ

かー!



お前だって
アレの時は
ケダモノ
みたいにな
るくせに



バカ
知らないっ!!

フイツ

かわい〜っ
赤くなっ
てんの
ウブね

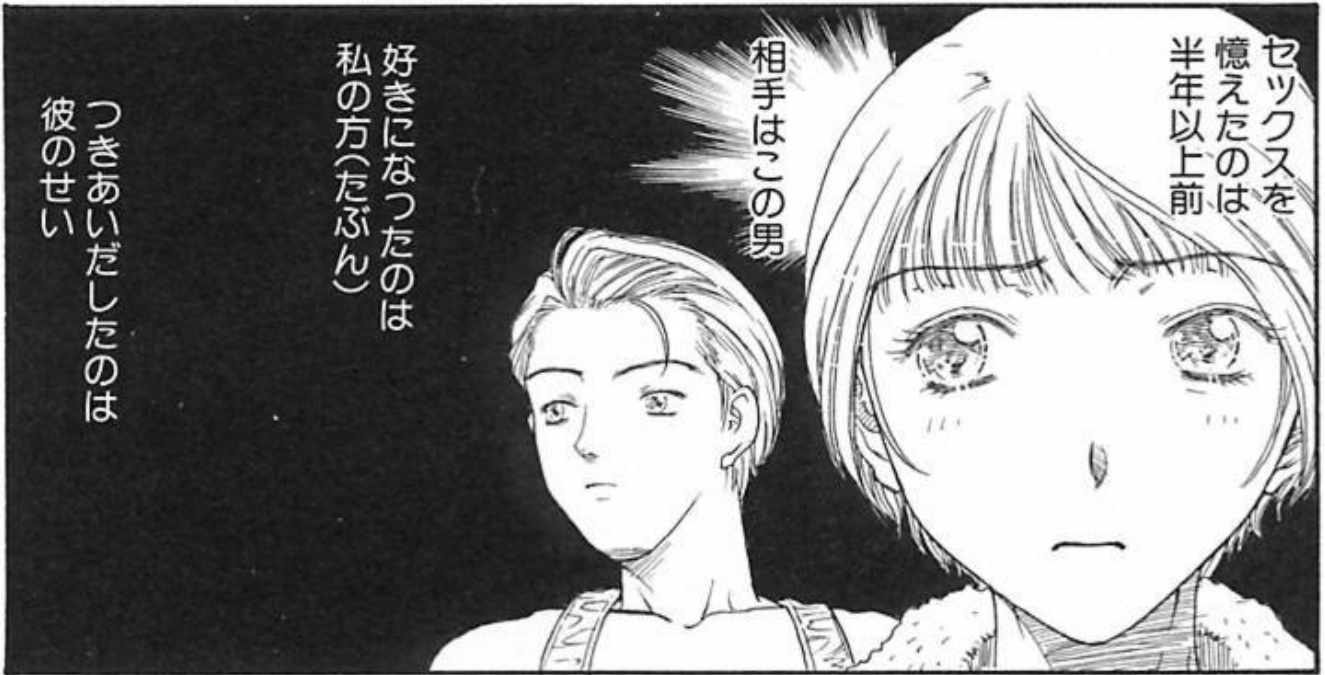
最低!!



そうゆう話も
外ではしたく
ないのいくら
二人つきり
でも!!

プンスカ

やわらかい感触





やわらかい感触



そういうえば
あの時も言つてた

「キスしたくなるような
唇してんだもん」

「キキ……」

やわらかい感触





オレは
こんな
性格だし

お前は
真面目な奴だし

キツカケが
.....

あんなことでも
しないと自分を
動かせないんだ

あ.....



キスしたくなる

唇してんだもん



「なんてこんな奴」

そう思わせる時とは
全く別の

やわらかい時間
やさしさを感して

ドクーン
ドクーン



私も...私だけの
あなたを知ってる

私を抱く時 普段から考えつかない
やさしさを感しさせるあなたを



あっ

大好き

ああっ
いっ
いっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ



.....
お願いイ

もっと
動かして
下さいイ

こうかい？

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ
ズッ



やわらかい感触







やわらかい感触





キスするの好き？

不安がることないか……でも……



お前の唇だからねなんかふよふよしていいんだよ

気持ちいいんだ

セックスが終わると……



お前はきつと男のペニスをくわえるために生まれてきたのかもね

「なんでこんな奴」にもなる

★やわらかい感触／おわり



バカーッ

ドカッ

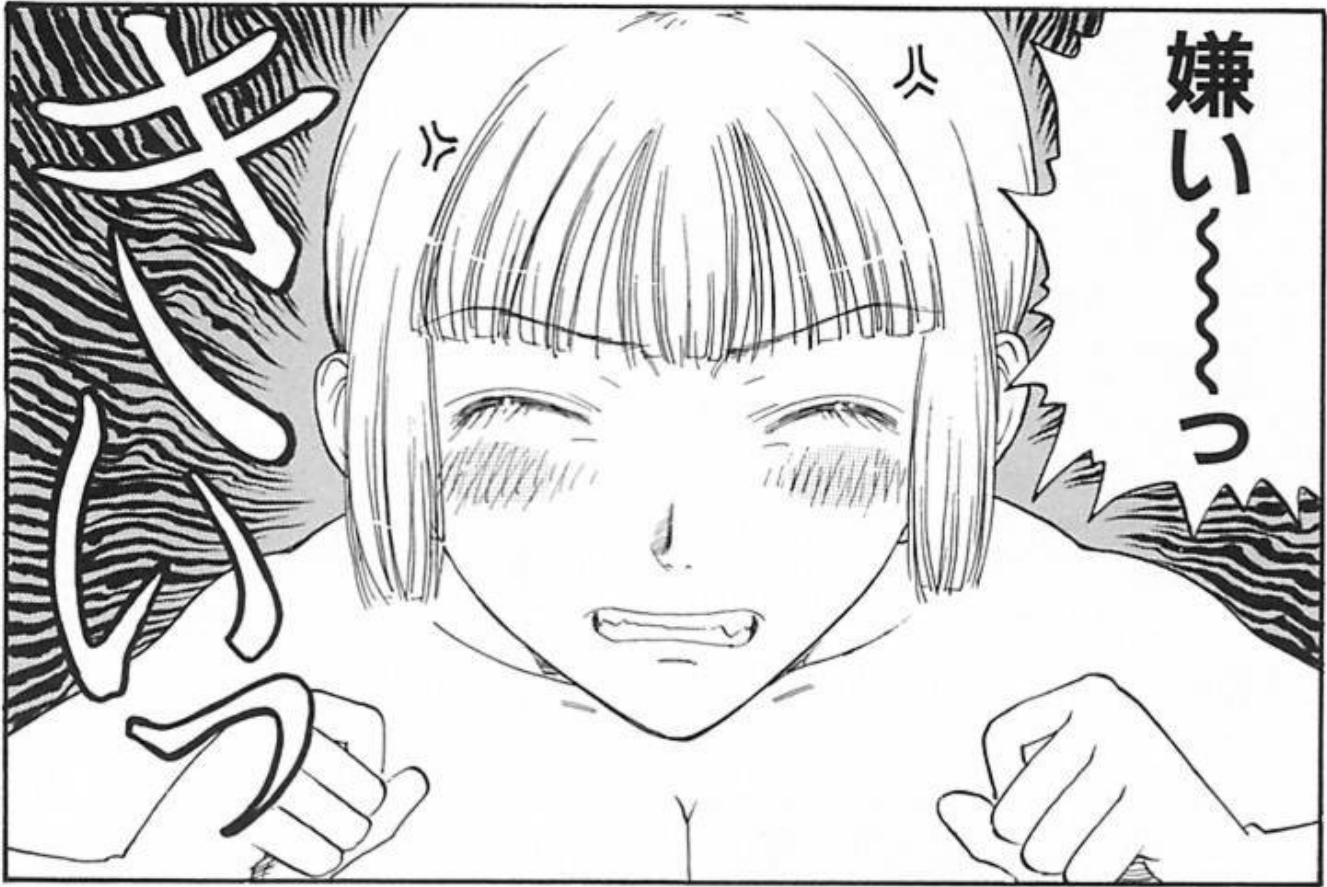
……でも好き

7/11

彼女の一
番嫌いな台詞

どうしてか、この台詞を聞いては、





嫌い〜っ



ごめん
悪かった
もう言わないから
絶対……

何も
平手打ちは
ないだろ〜



だって嫌なのっ
そう言われんのっ

私
あんなんじや
ないものっ

悪かったよオ〜

二度と
言わないでよっ
セツタイだから
ねっ

わかったよオ

どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞



また言ってしまった

彼女は
気にしてるといいうのに
どうしても
口にしてしまう

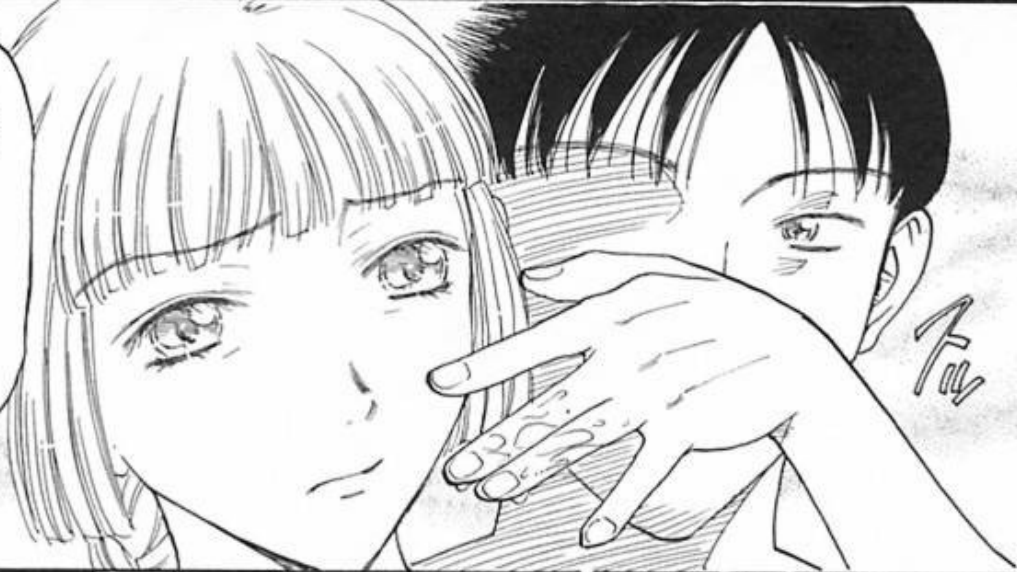
オレとつきあう前に
必ずと言っていいほど
それがセックスしてる
みたいだと言われた
らしい

悪気はないんだけどな



もう
こんなに濡れてる

感じちゃって……



いちいち
そんなこと
言わないでよ

エロマンガ
読みすぎ……

君の中に
ボクのが
出たり入ったり
してるよ

俺のチ○コは
お前のマ○コ汁で
ぐちゃぐちゃだぜ~~~~

なんて言われたら
私笑い止まんなく
なっちゃやう

あと



私の中で出してエ
マ○コの中に
そそぎ込んで〜



イメージ画像

っていうのもなんか
私おかしくて……

うぷぷ

いくんだよ
俺は
そーゆうセリフで
興奮すんの

お前喋りすぎ
集中出来ないだろ

ぶ
に

だって
おかしいこと
いちいち言うから
言っときたかったの









どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞







あっ

あっ

あっん

んっ











★どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞／おわり



しまったっ
ははは
言ってしまった!!



あ~~~~
ほ~~~~



牛だ牛

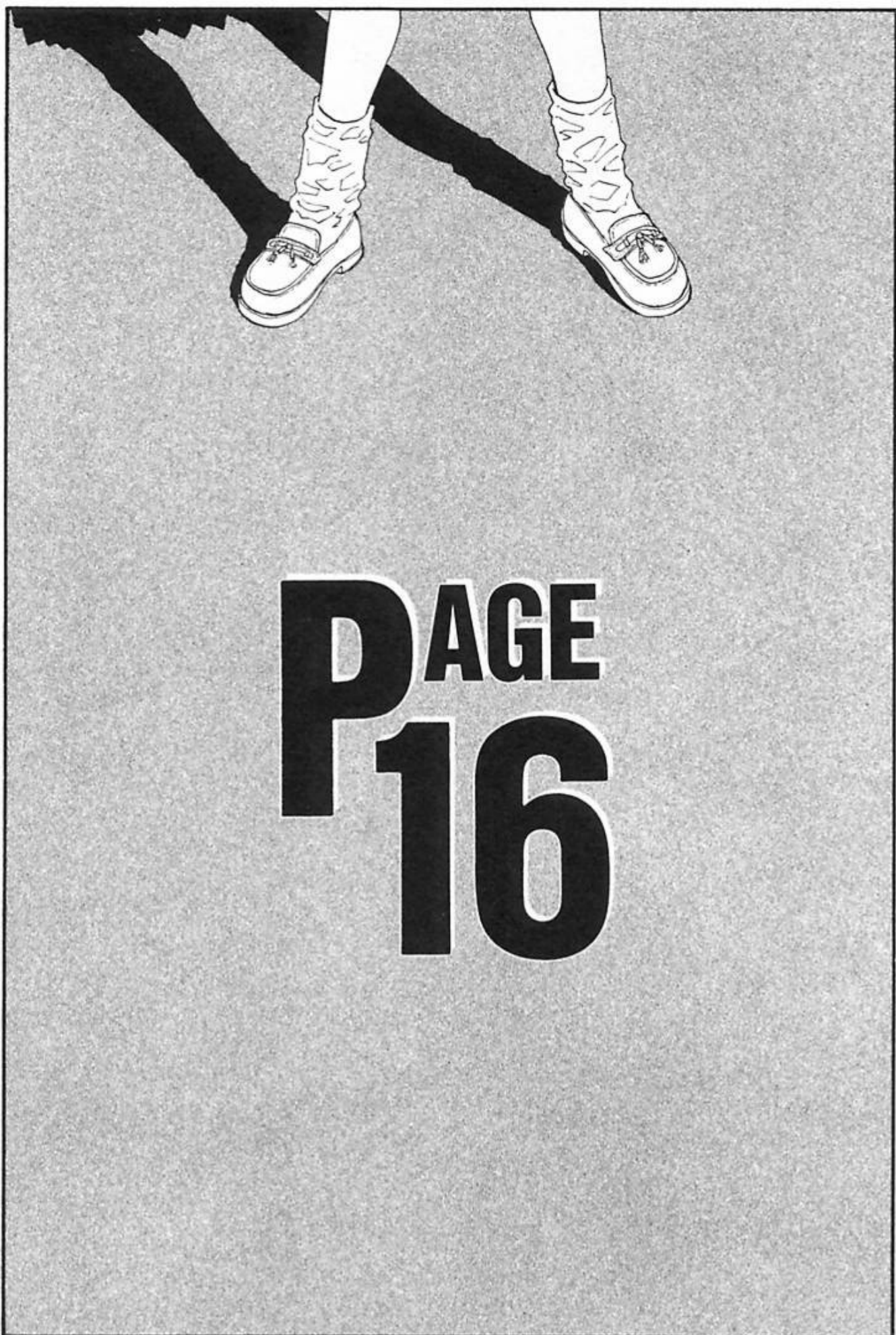
ガン



ははは
いゆるん
おかし~~~~
きや~~~~
ははははは
バカな台詞!!



べつとり
ミルクでも
いがかしら?
私のじゃ
ないけどねっ



興味はあるの

タロウくん

キスもしたし
ムネだつてあそこだつて
さわらせてしまった……

今日……いっっちゃうのかな……

トクン

トクン

ハナコちゃん

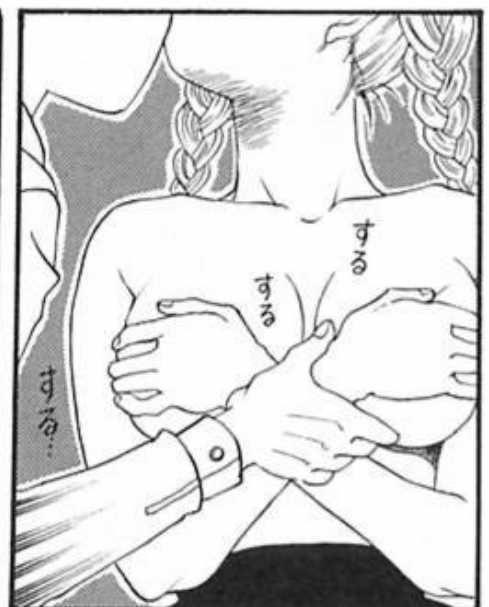
トクン













怖くなってきたーっ

どうしょー
こんな調子じゃ
処女喪失の時なんて想像つかない〜

スル



やだーっ
心臓破裂寸前!!
死んじやうか

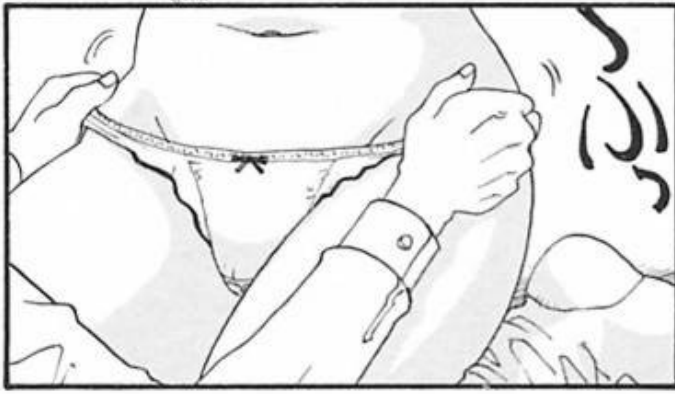
ドキン

ドキン

ドキン

ドキン

ドキン



っ



す



見たいんだ
ハナコの
生まれた時の
姿が……

よしっ
バツチリか!?

キ
リッ



だっ大丈夫だよ

こっ……
何か気のきいたこと言わなきゃ

ぐぐ



怖い……

グッ











じゃあ
いくよ……

よ……し……



うん……



うわっ

あんなに……
脈うってる

ゴクゴク

ゴクゴク



なんだよ
今さら!!

え

だびん



あっ

待って

バツ



タロウくん
持って来てる?

じい



ウソっ ちょっとマテ!!
オレ コンドーム
持ってないよ
「ハナコちゃん持ってる?」
なんて聞けないし
どうする? 買って来るか?
でもそれでシラケちゃったら
今までの苦労が……

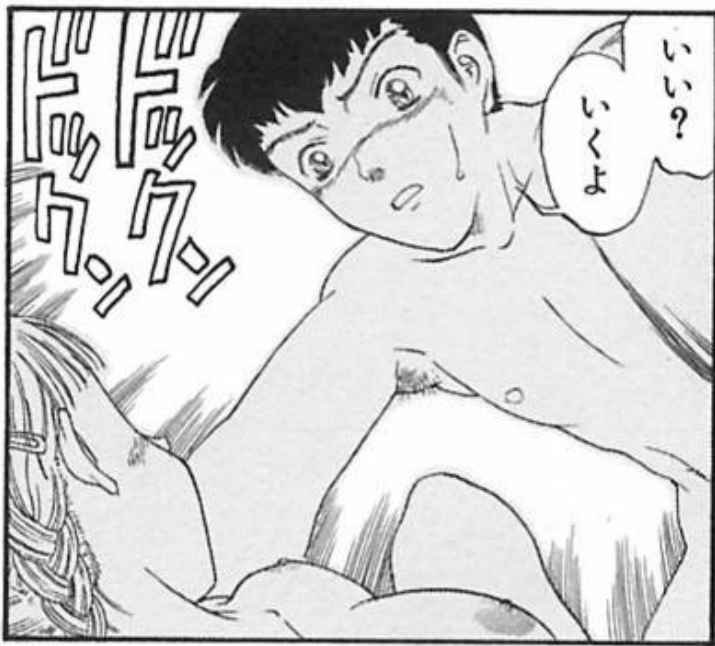
ゴクゴク



コンドーム
つけてよ

子供出来たら
やだから

そっ
そうだよな



ドツキーン

うん

ドツキーン

とうとう

処女じゃなくなるんだ
…私…

ドツキーン







なんでだよオ
なんで出るんだよ

どっ
どっ
どっしよっ

ズ
ッ



どうするって……
どうしよう……

ただいま〜

びんぶん



あつ
お姉ちゃん
帰って来ちゃった
やば

明日は私の
誕生日……



早く服着て

うん

ハナコ
いるの……

は〜い
いるよオ

16歳最後にして



最大の出来事は
これで終わり……



あ…明日……
明日はきつと……

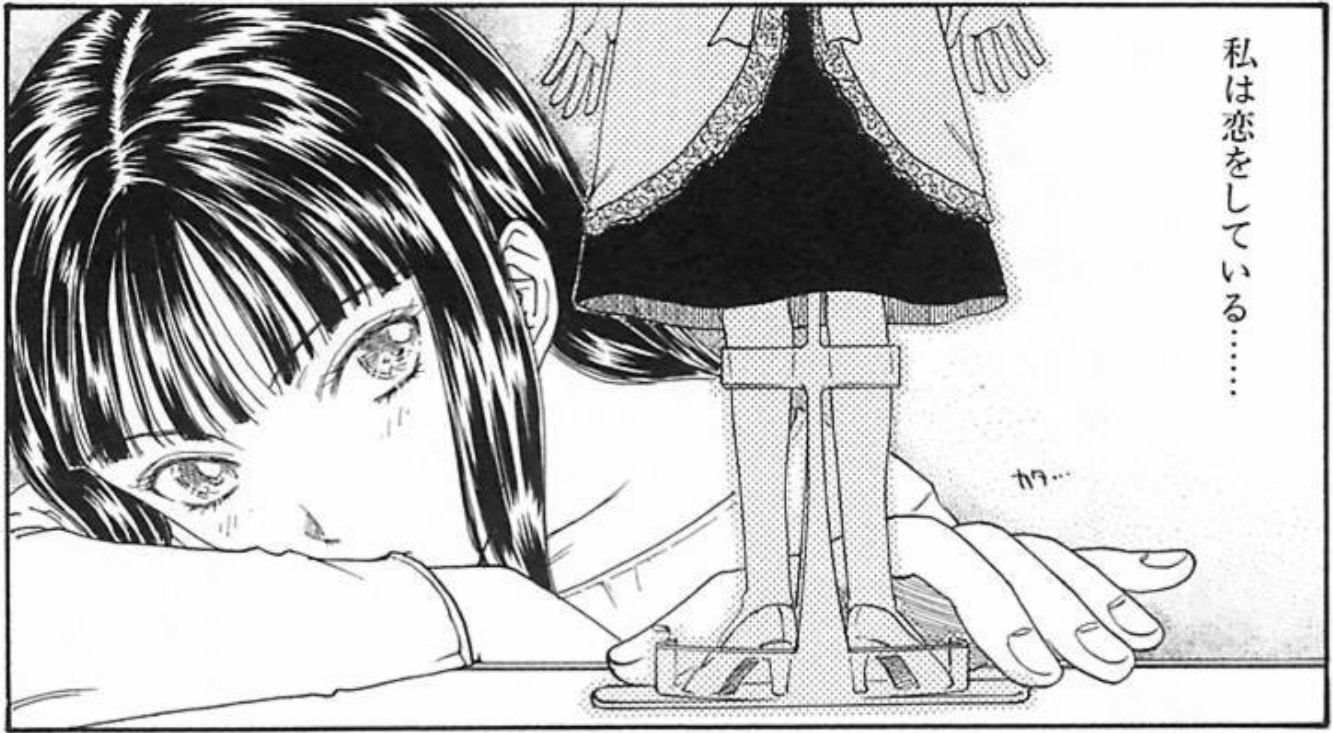


あ〜なゼ〜

かべにねずみあな

壁に鼠穴





私は恋をしている……

か……



フム……



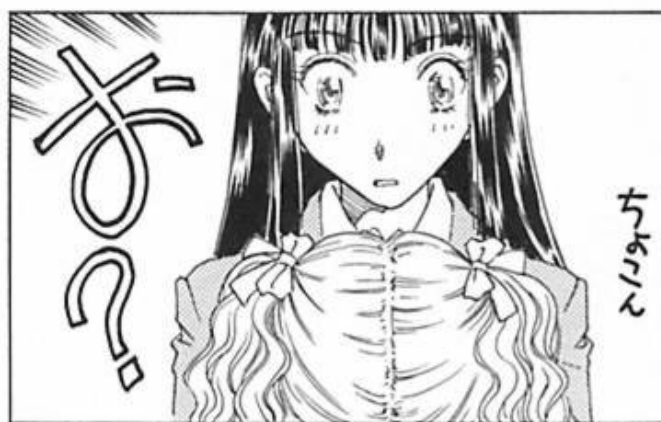
あの目を忘れろとささるまいった



重症だなこりゃ……

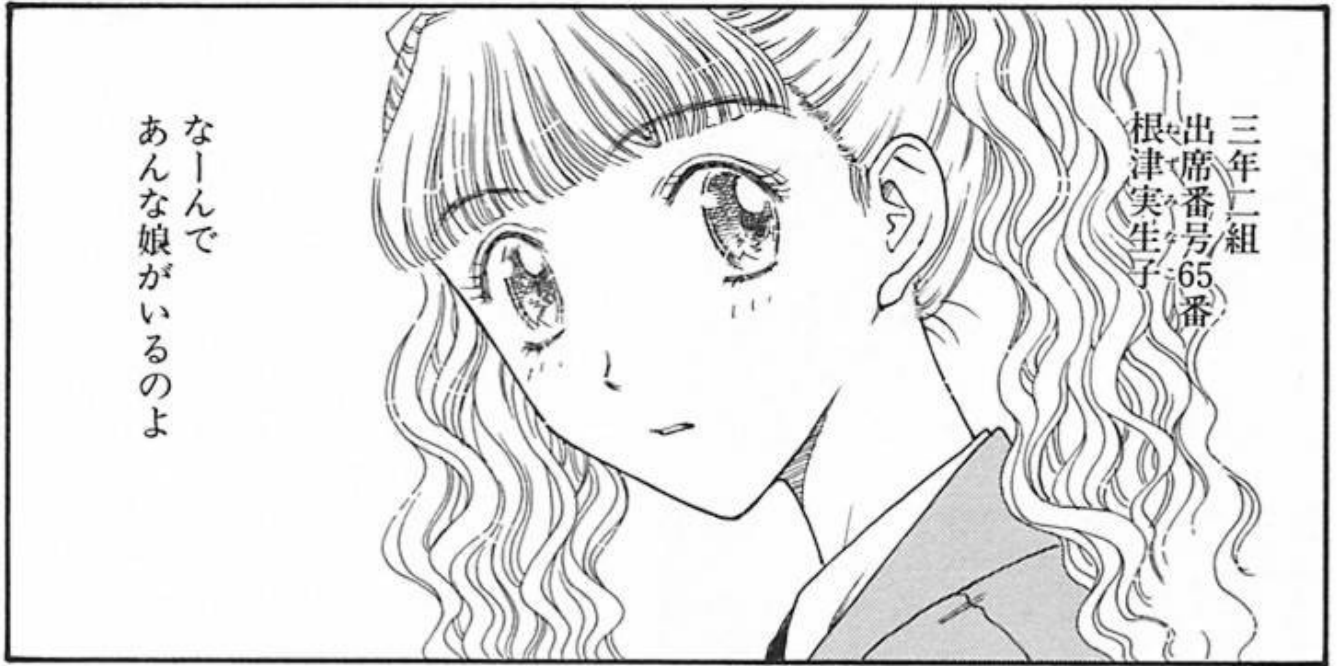
ふは

は





壁に鼠穴



三年二組
出席番号65番
根津実生子

なーんで
あんな娘がいるのよ



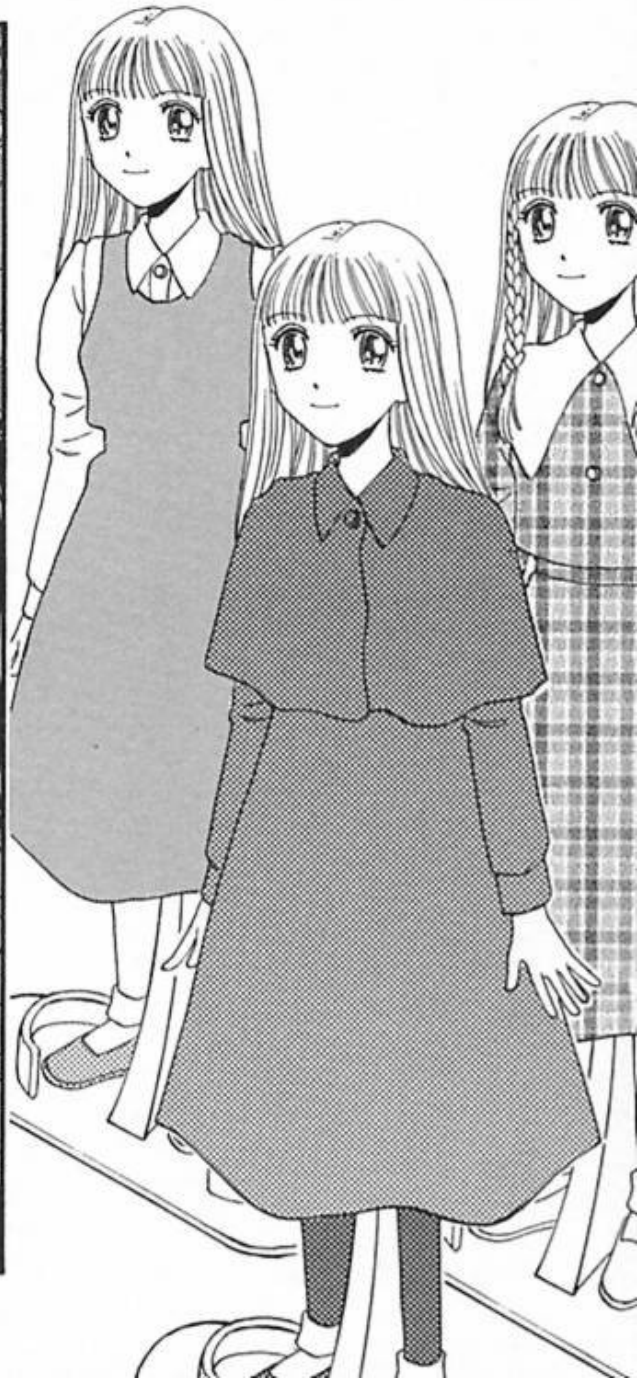
ズーン

おぼろ...



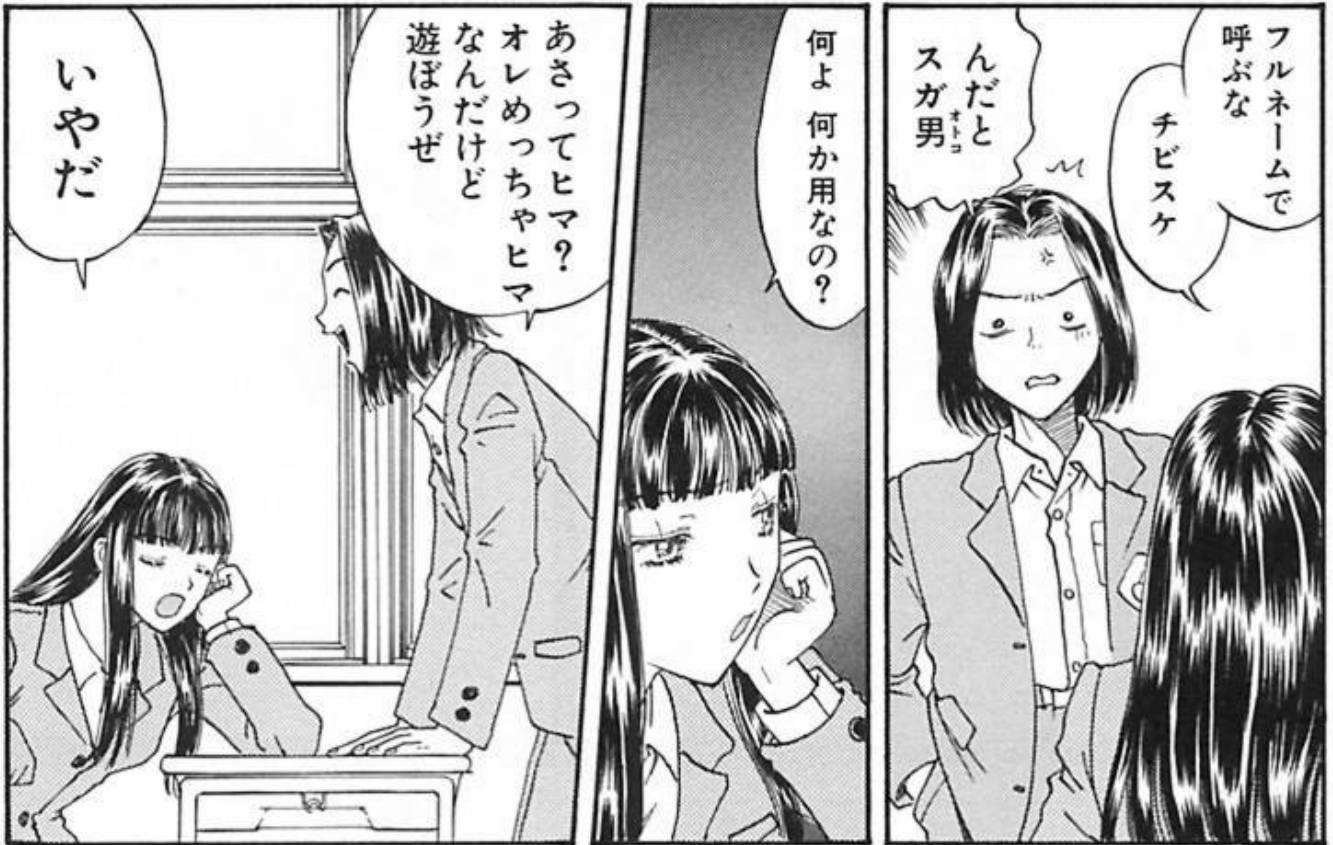
ああ〜〜ん
みなこちやあん
スキスキイ♡

キーン





壁に鼠穴



いやだ

あさってヒマ？
オレめっちゃヒマ
なんだけど
遊ぼうぜ

何よ何か用なの？

んだと
スガ男

フルネームで
呼ぶな

チビスケ



前に一度だけ
身長低い男と
つきあったことがある

私にはあるのよ

スィ
スィ

恋愛に身長差は
関係ないのだ

私より背の低い男には
興味ないんだから

いいかげんに
私のことは
あきらめな
さいよ



結構いい顔してたし
その時は私も
身長差は関係ない派だったし
問題ないと思っていた

その差17センチの2人

しかしセックスの時
男の顔があたしのアゴの下に
来た時のショック

スコーン

目の前には何もない
ただ天井を見つめてしまっ
なんだか天井を見つめていると
不思議とむなしくなってしまう
そして首の下の方でうごめく重さ



壁に鼠穴





壁に鼠穴



まずは
こいつが
先だつてなあ









ドキン

ドキン
ゴクン
ドキン

しっ 白いハタ……
本当にお人形さん
みたい……

ドキン
ゴクン

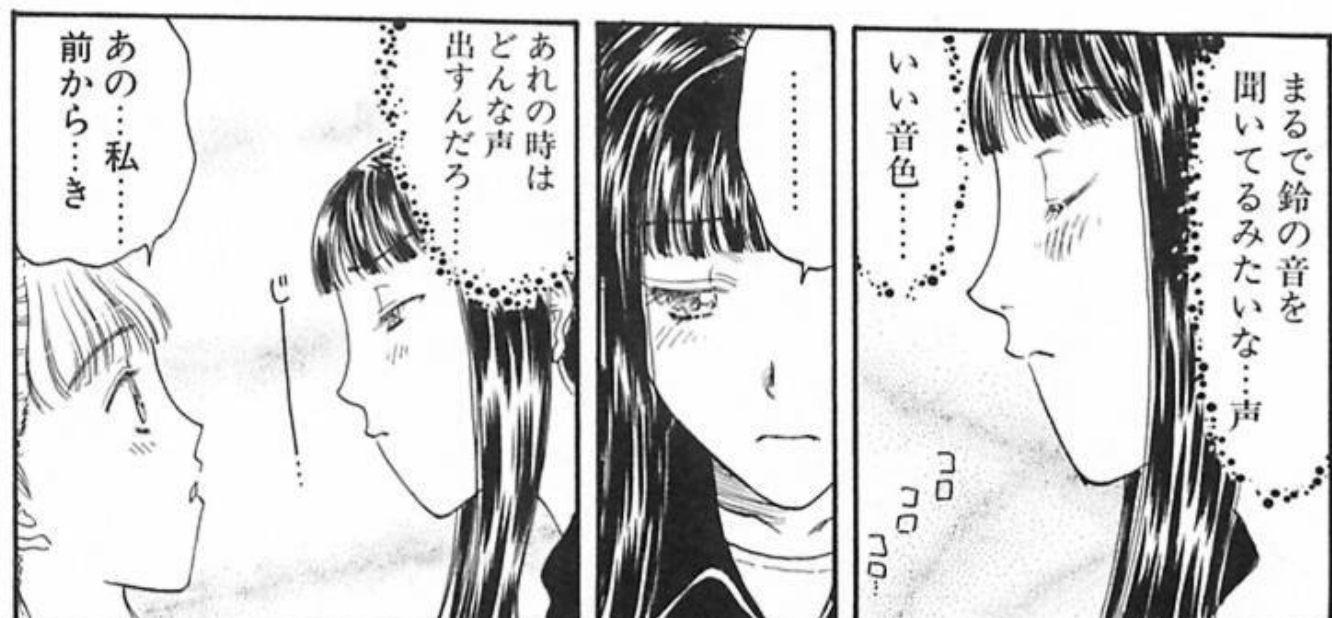
かわいいくちびる……うすい……ピンク……

えっと……あの
三組の真壁さん
ですよ

ゴクン

背高いし
めだつ人だから
気になってたんです

ゴクン



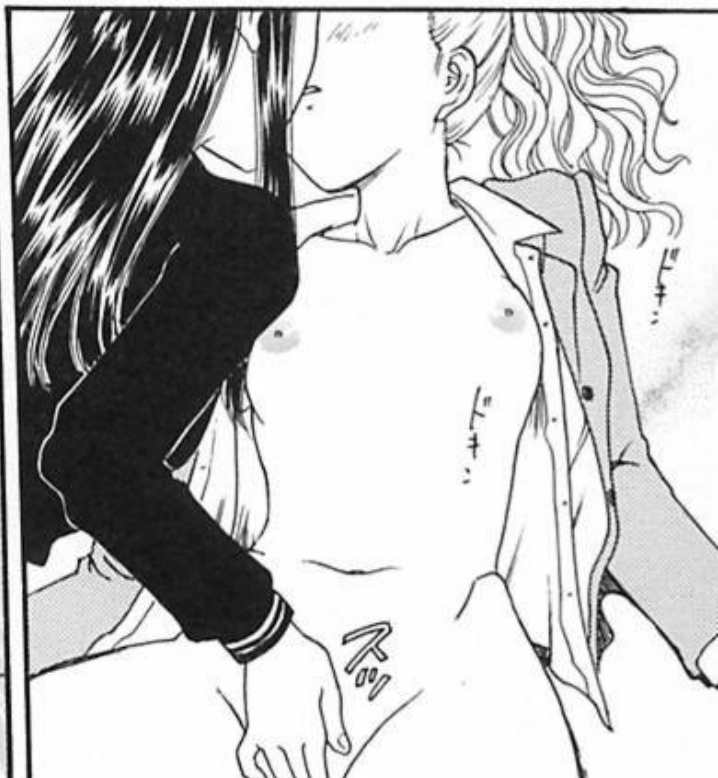
まるで鈴の音を
聞いてるみたいな……声

いい音色……

あれの時は
どんな声
出すんだろ……

あの……私……
前から……き

壁に鼠穴





あっ

欲しいな...これ

ビク

飾つときたい.....

あんっ





あつ
何やってんだ私
これじゃ
あいつらと……



真壁さんて



はっはい
やばっ
なんてせつめー
しようか……



真壁さん



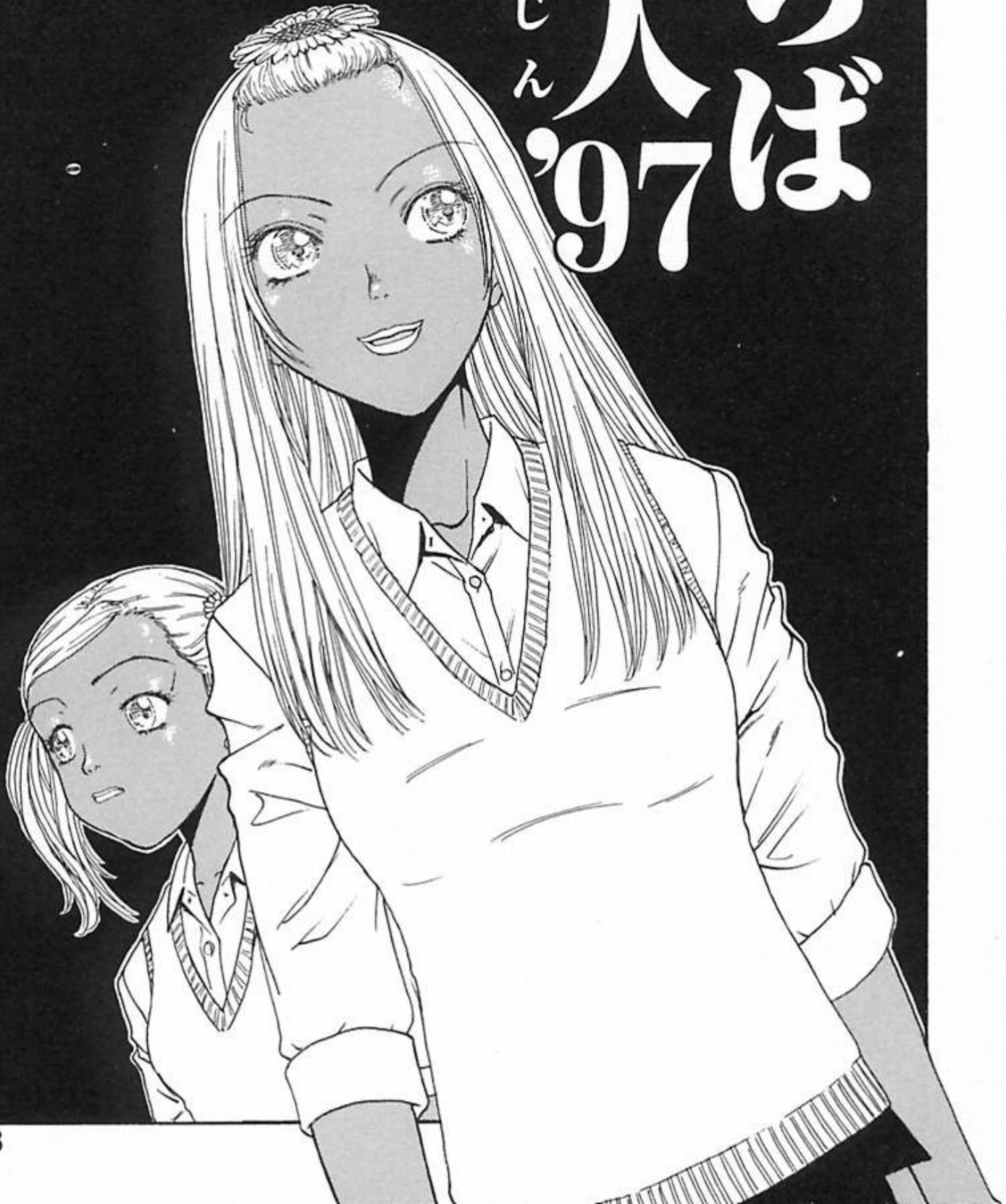
カチ

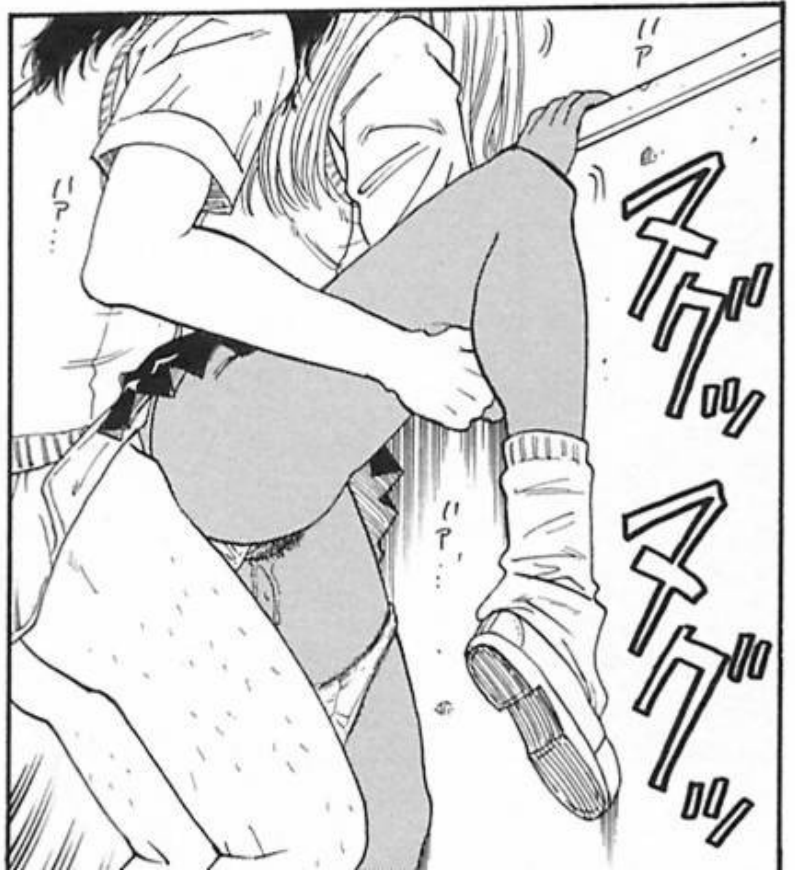
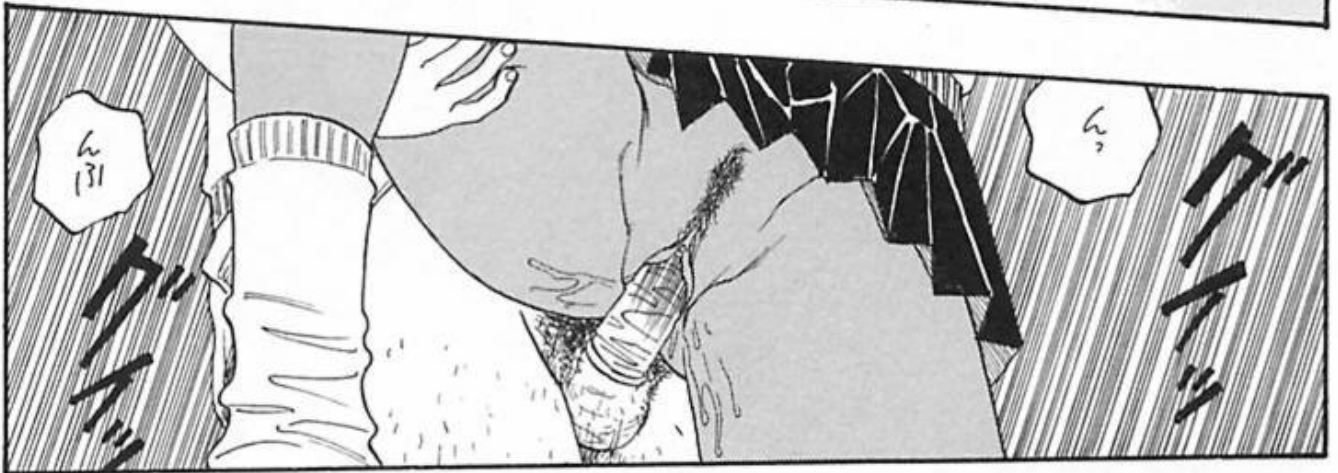
☆壁に鼠穴／おわり

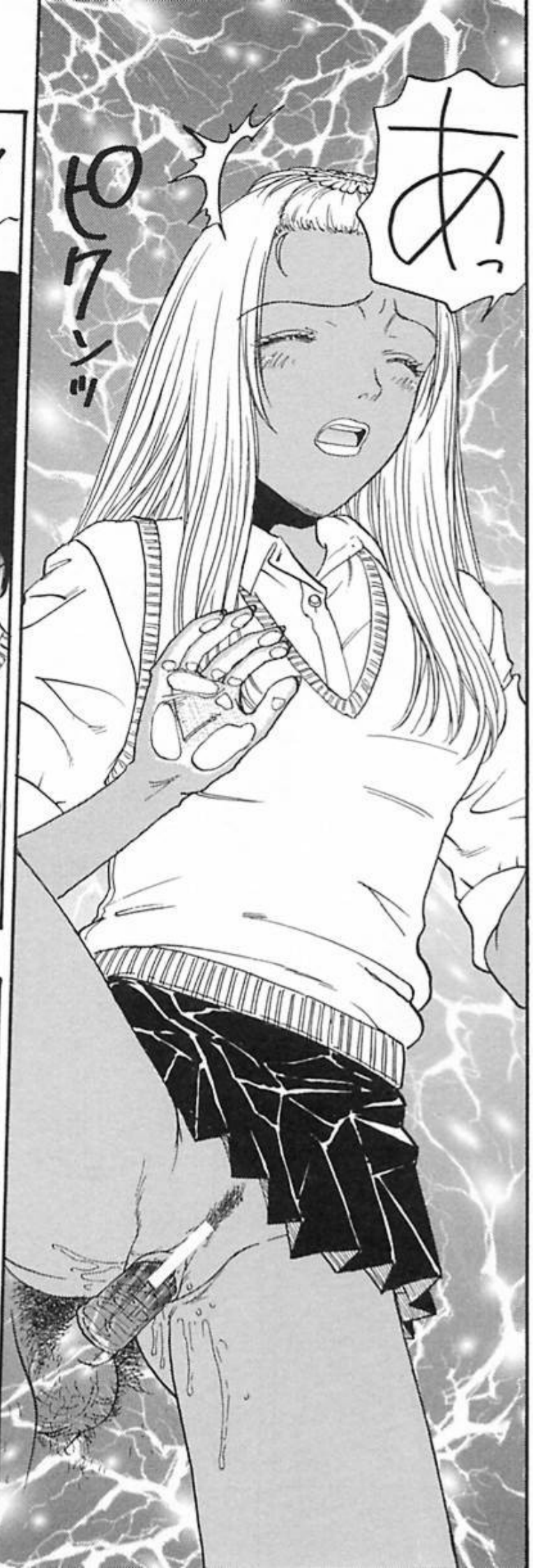


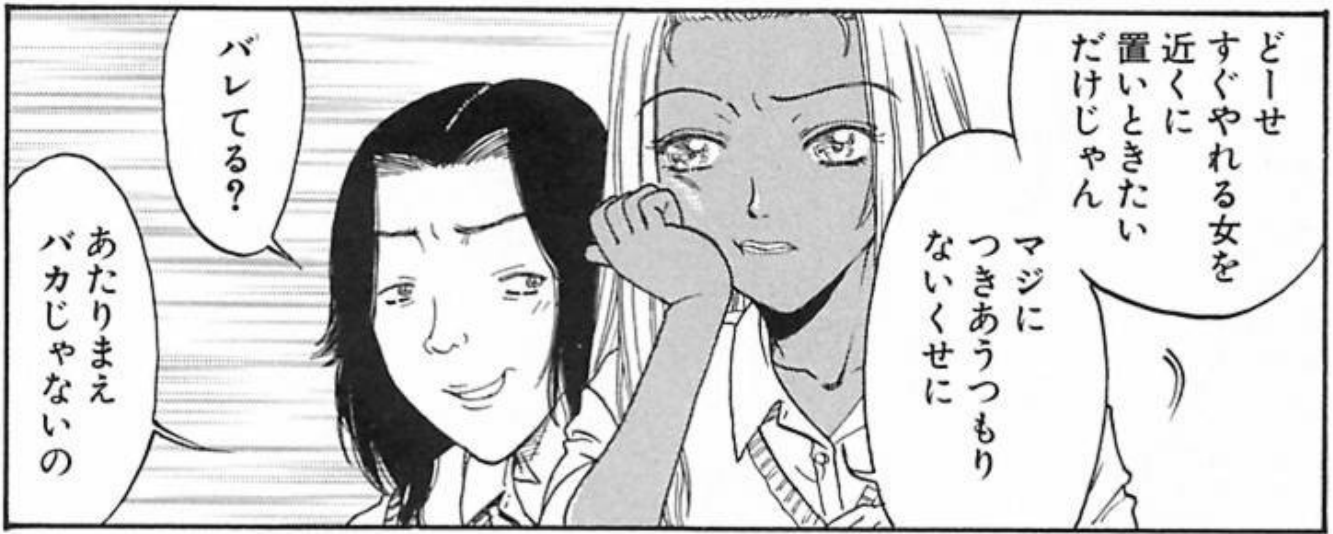
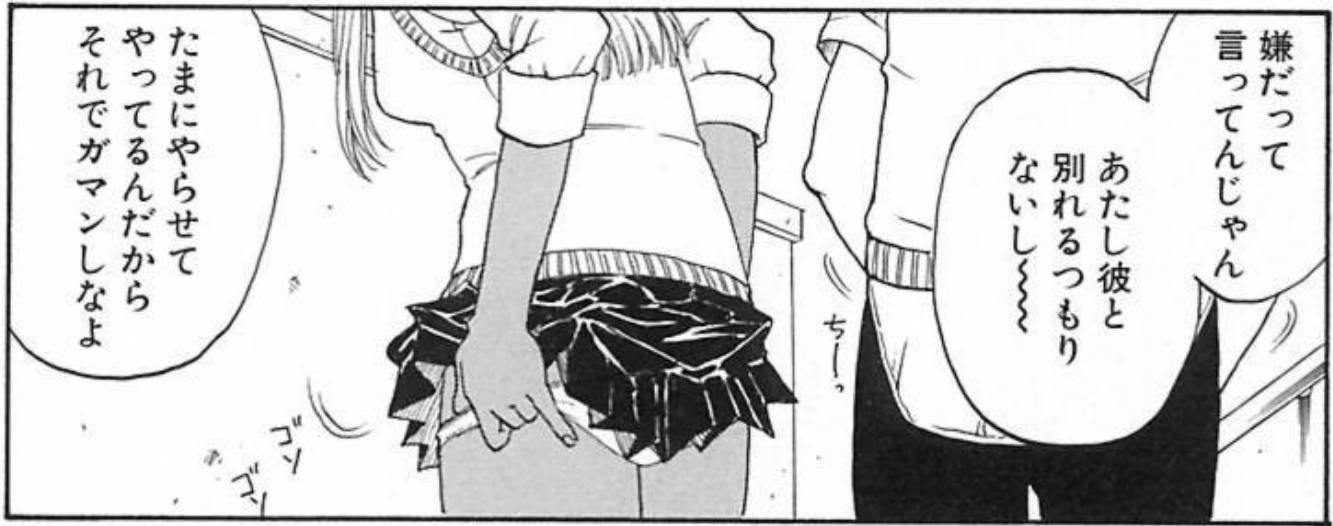
何食べてるんですか？

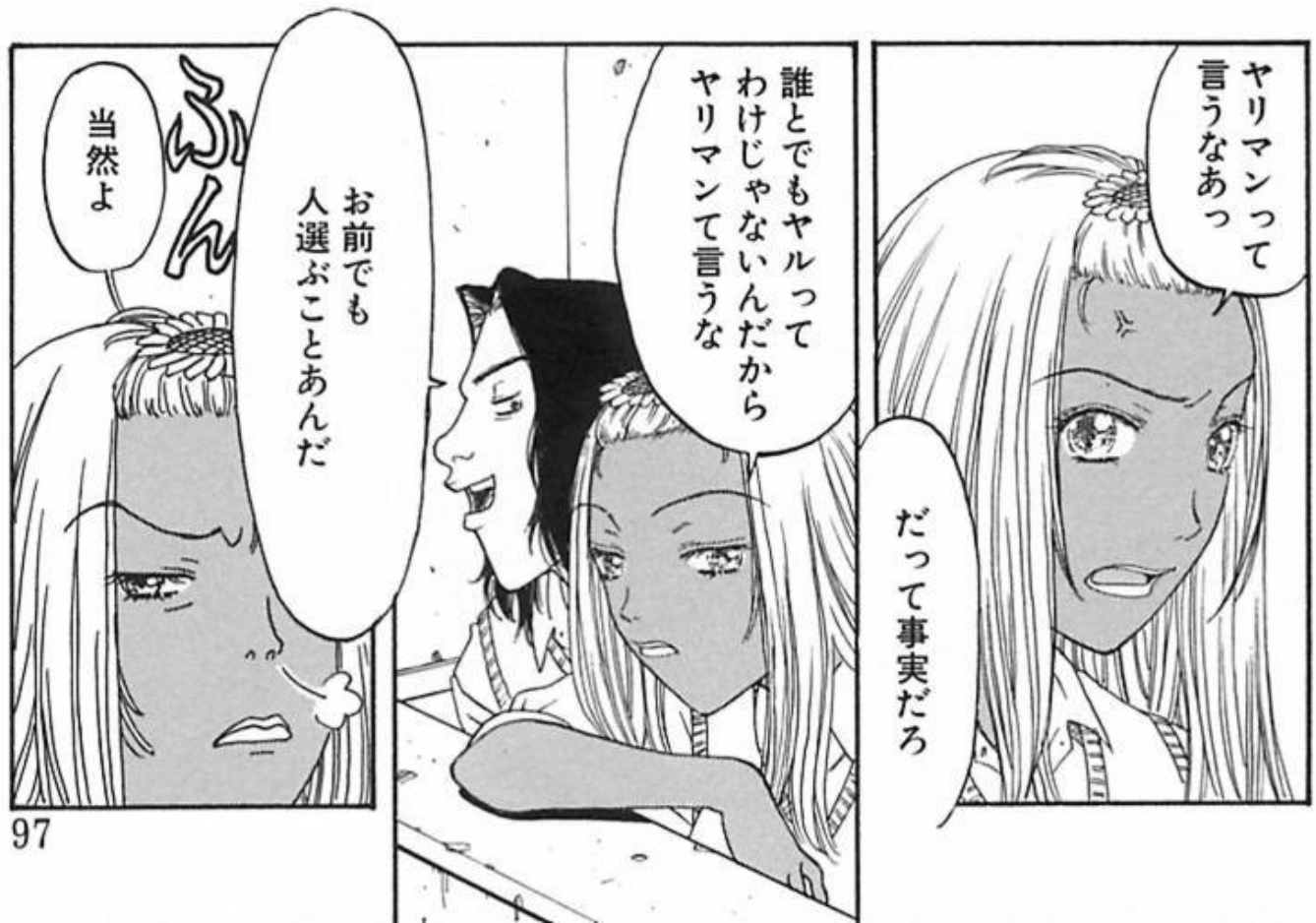
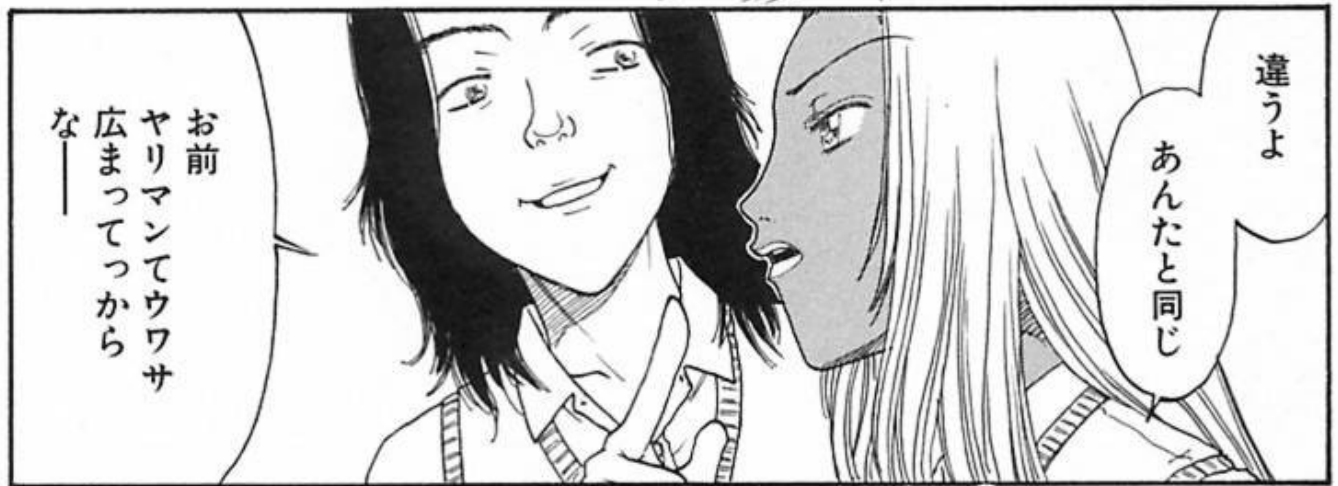
きららば
旧人
'97
きゅうじん













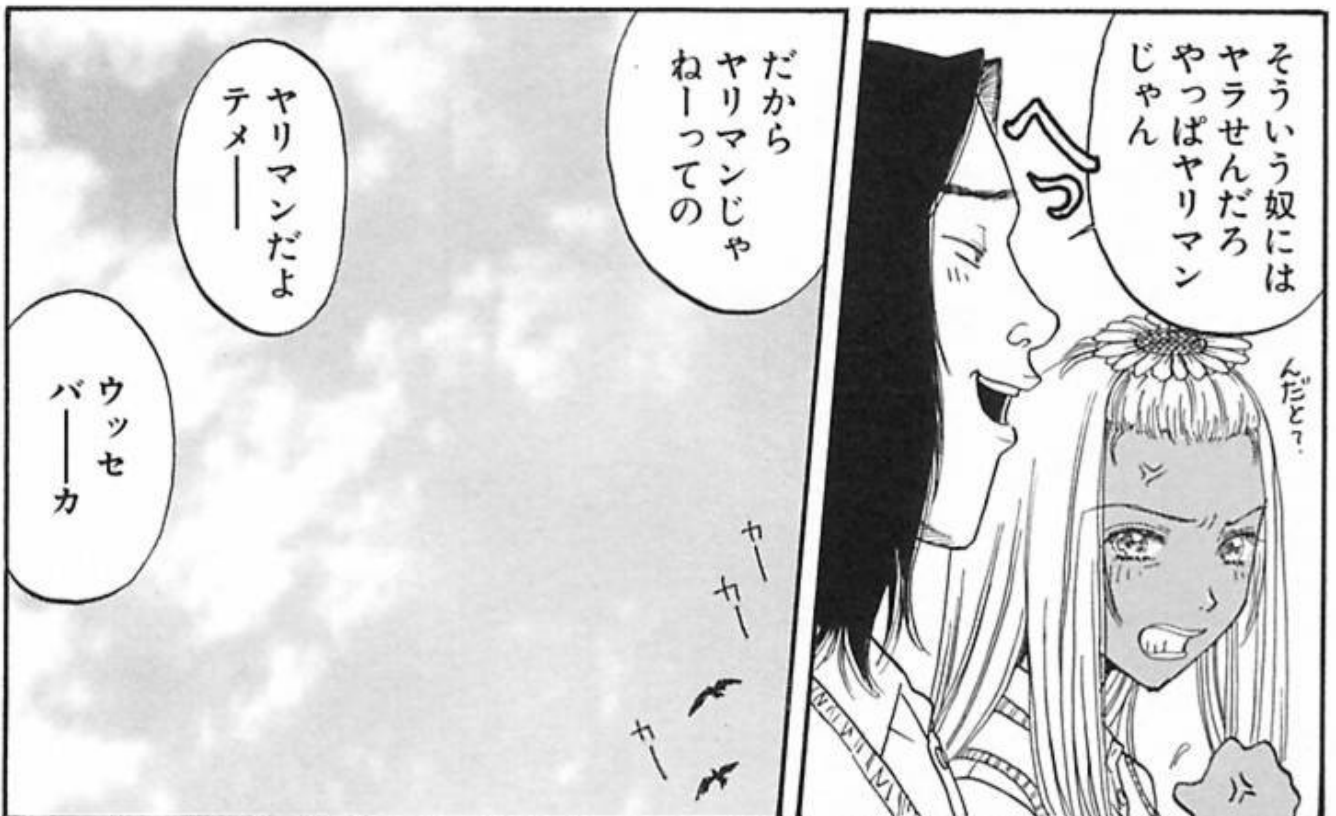
基準はなんだよ
ヤッても
いいっていう
基準はよ

そんなの
決まってるん
じゃ〜ん



あたしが
やらせてもいいと
思った奴よ

ヒッ
ッ



そういう奴には
やらせんだろ
やっぱヤリマン
じゃん

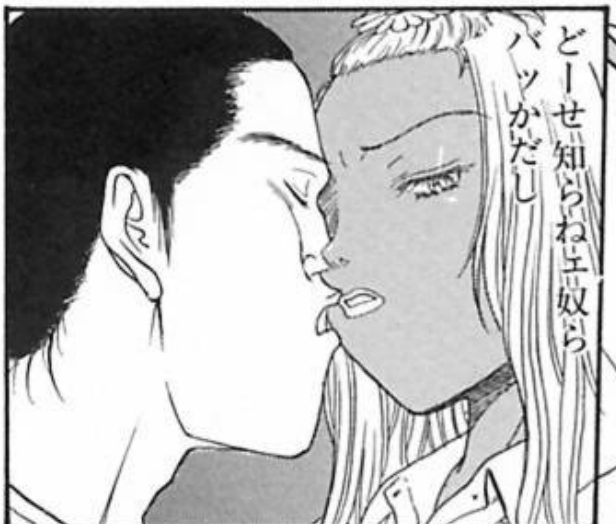
なんだ？

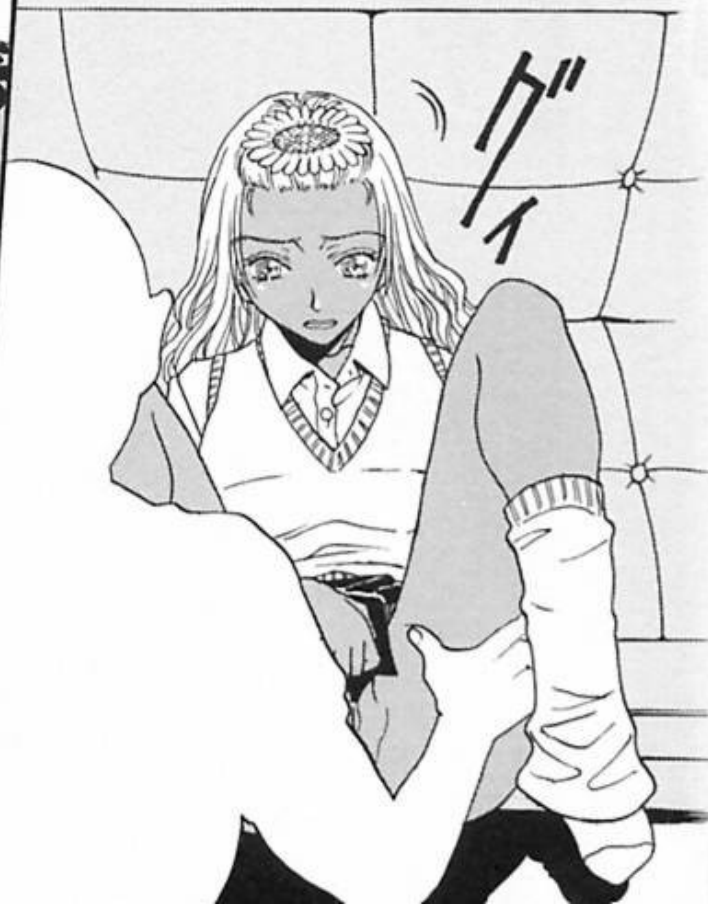
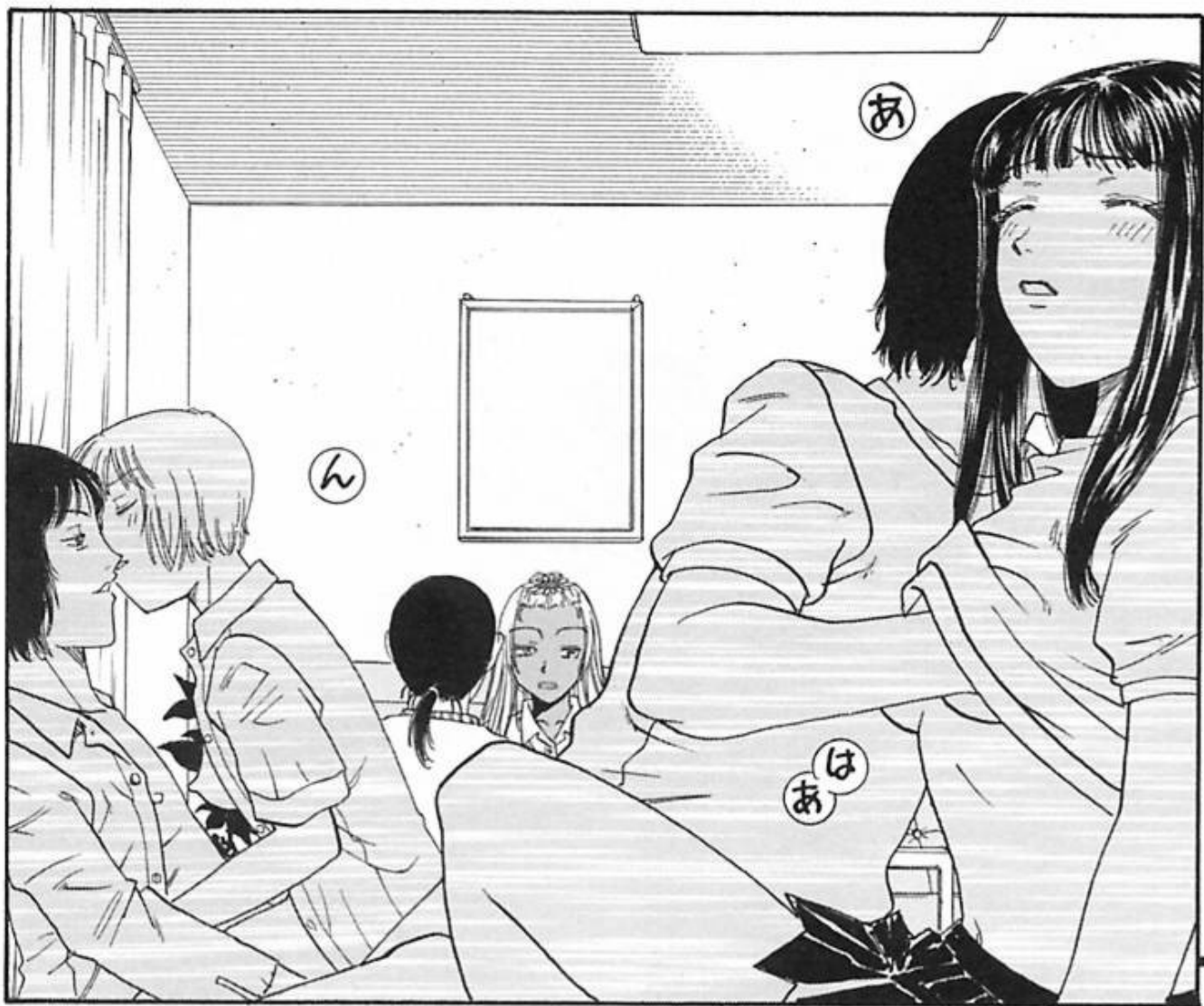
だから
ヤリマンじゃ
ねーっての

ヤリマンだよ
テメー

ウッセ
バ——カ

カー
カー
カー

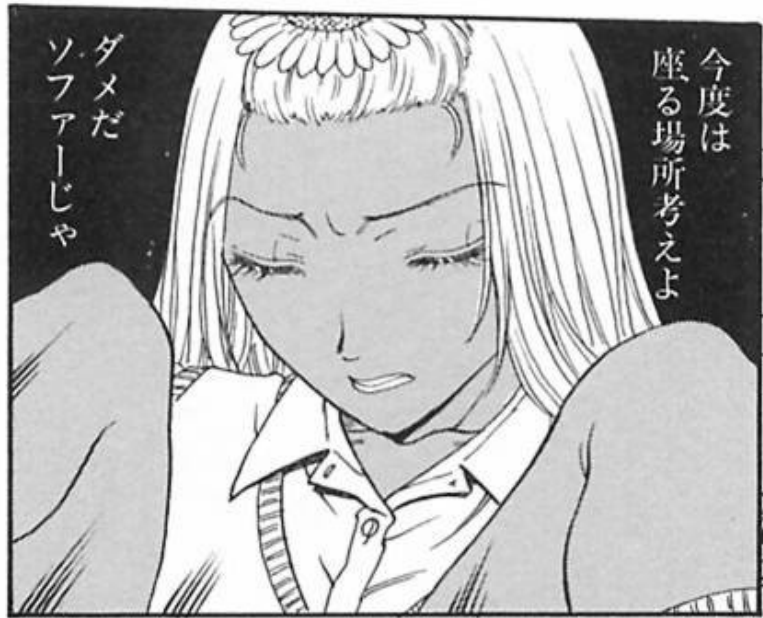






首痛えな

いーな
いずみは
ベッドとれて

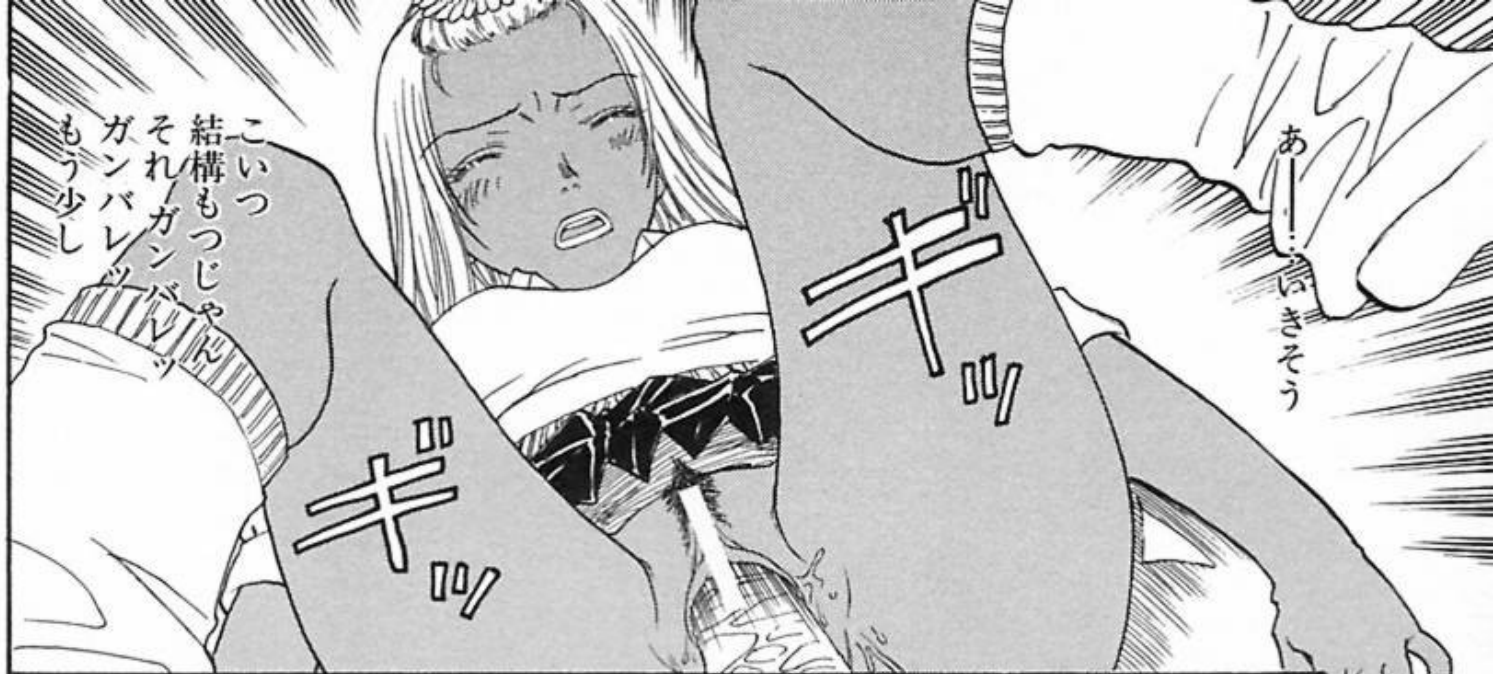


今度は
座る場所考えよ

ダメだ
ソファーじゃ



あっ
あっ
あっん



こいつ結構もつじやん
それガンバレ
もう少し

あー! はきそう

ギッ

ギッ



えっ いったちやっただの
バカ あたしまだだつ
つーのサイテー

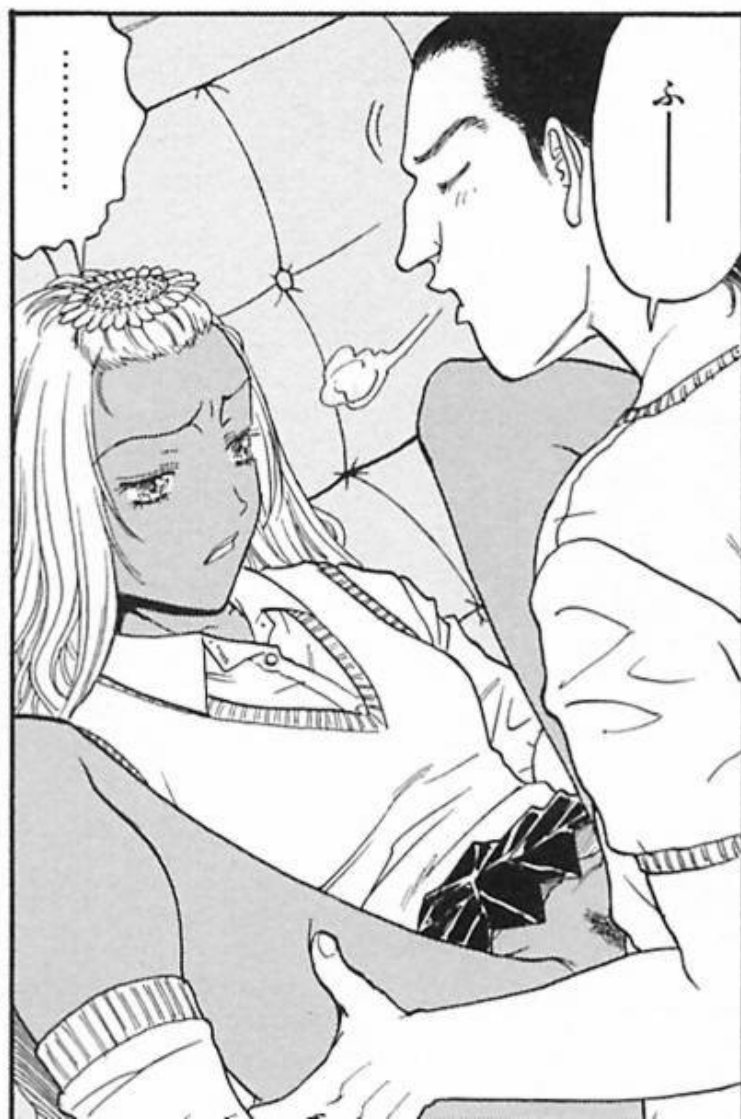
ビクッ

うっ



ガツかりさせてくれるよ

ふ
じゃねえよバカ



ふ

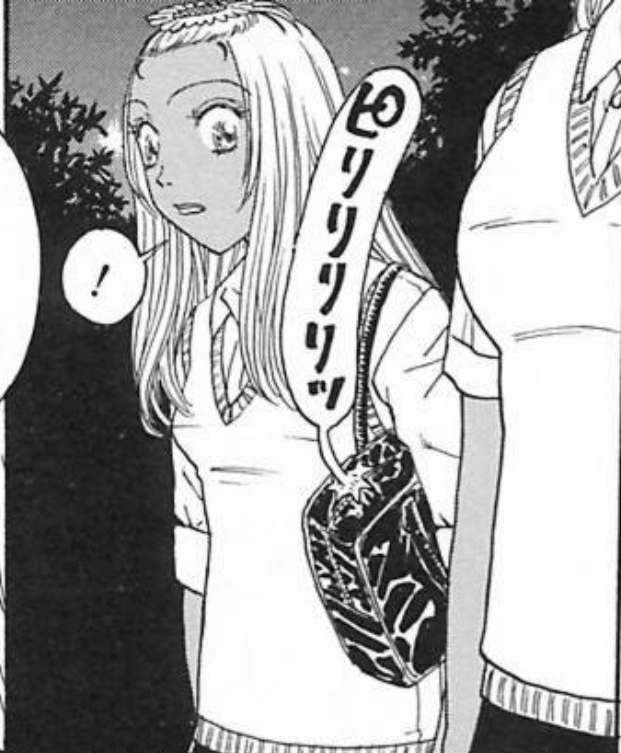
.....





えこれから？
いーよわかった
行く行く

もしもしー
あフミヤ？



！

ヒソヒソヒソ

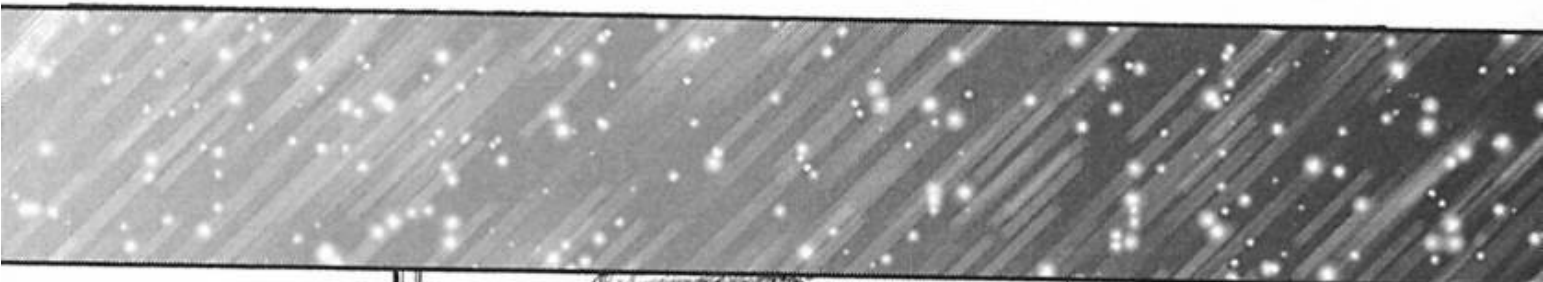


彼氏からの
おさそい？

うん

ちようどいいじゃん
いかせてもらいなよ
ヤリマン

ウルセー
じゃあね
ヤリマン



ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ





あっ

クッ

クッ

クッ

ズン
ズン
ズン
ズン



あっ

あっん

余韻残ってるから
すごくいい……





ハア...

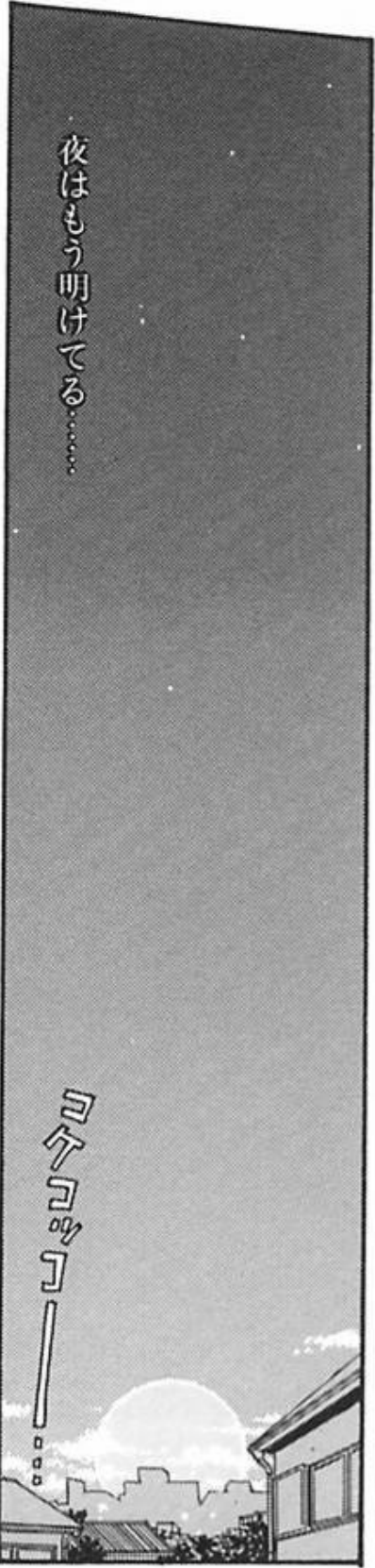
今日も……
がむしやらに肉をこすりあわせ
気持ちよくなる……

明日もあさ……でも……

「セックスは恋愛関係の上で」
なんてもうタサイよ……

ハア

ハア……

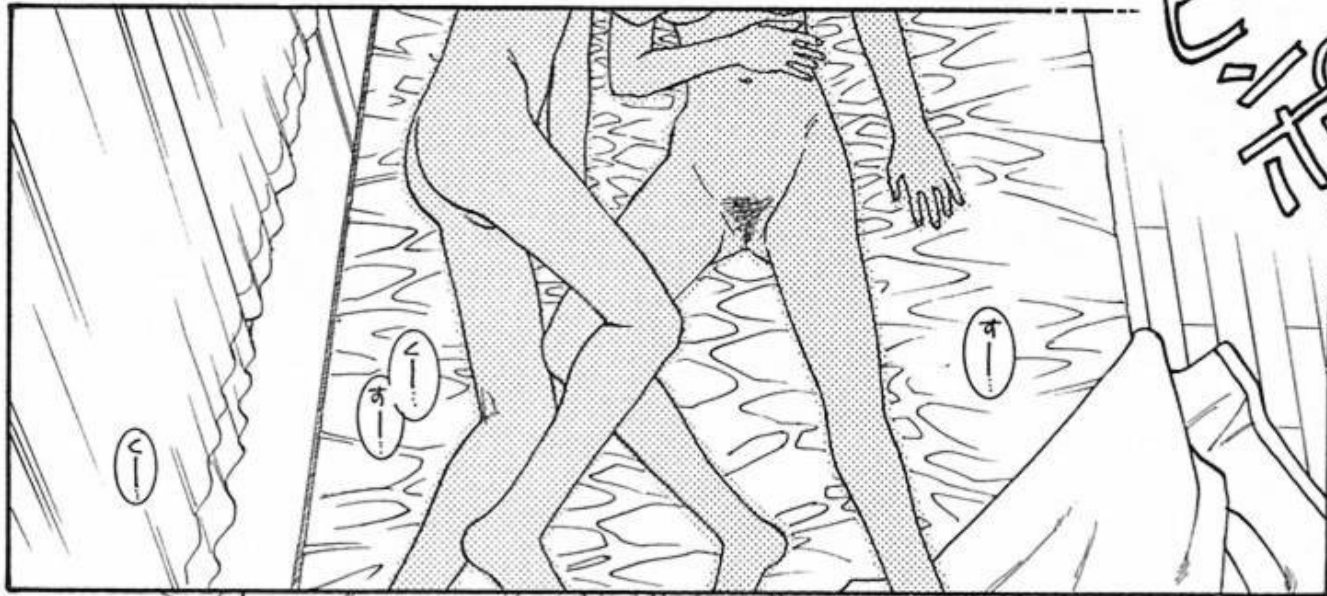


夜はもう明けてる……

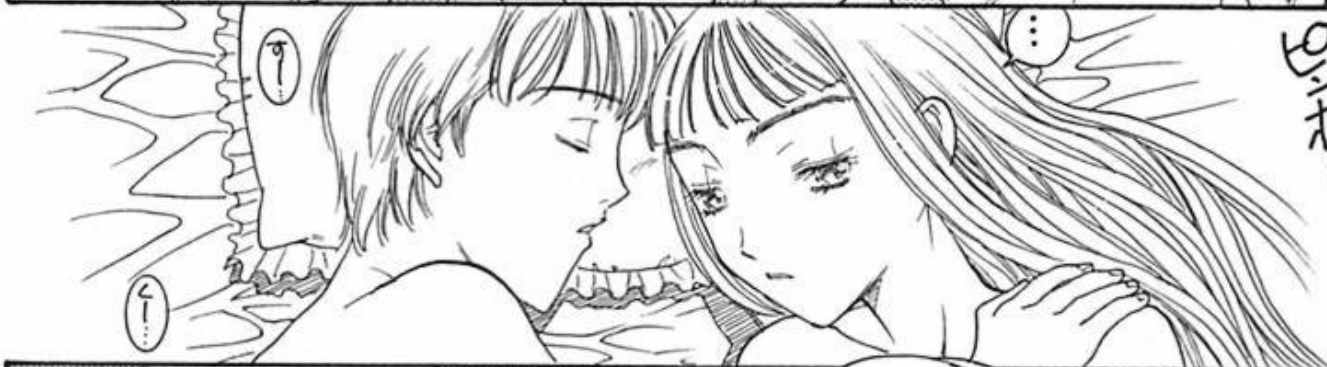
コケコケコケ

によ
こ
かわいい溺壺





トキトキ



トキトキ……



う……ん？
いいよ……どうせ
ほっとくんだし



ねえ……
誰か来たみたい……

す



それよりさ
しようよ

グ

あとでいいよ
そんなの

私…シャワー
あびたい

ベトベトしてきている

ん…

アッ…

グニャッ

グニャッ…

あッ
ほクッ…

もどッ

アッ



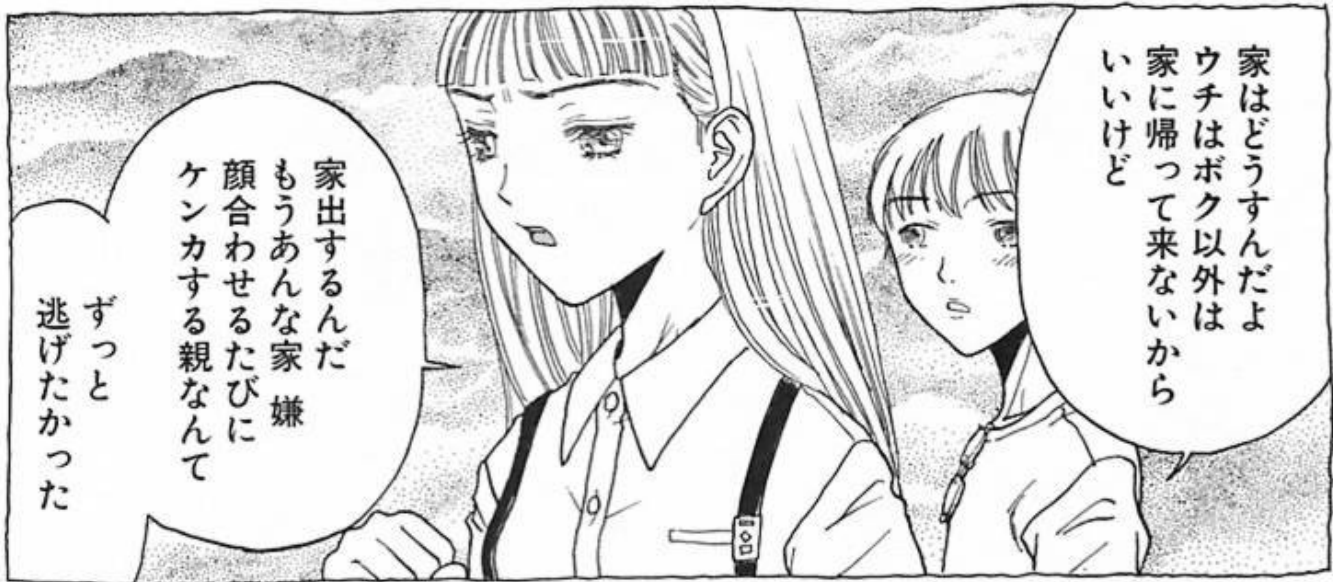


夏休みに
入ったらさ

私くも来留くん家に
とまりに行く

夏休みの間中
一緒にいるの

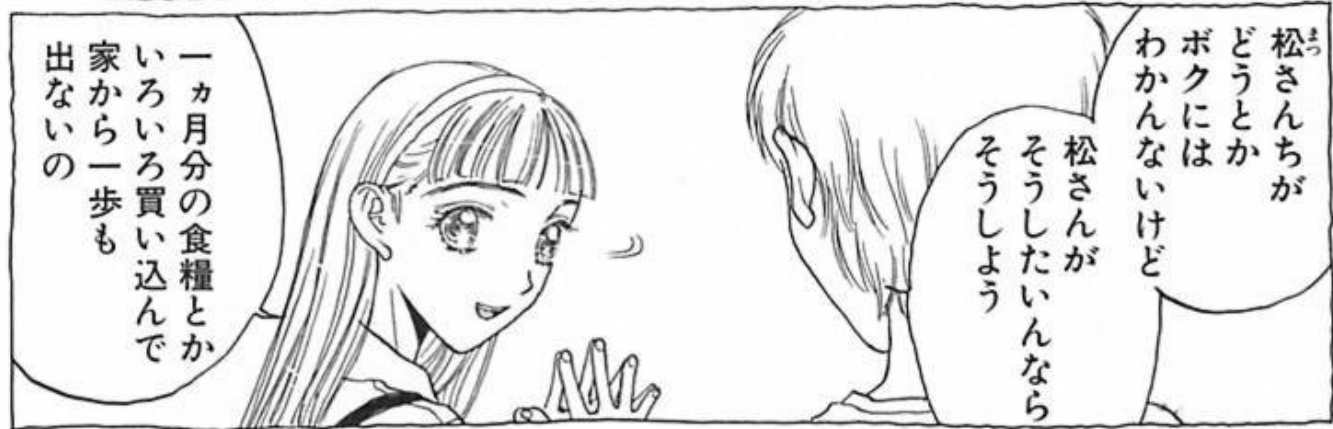




家はどうすんだよ
ウチはボク以外は
家に帰って来ないから
いいけど

家出するんだ
もうあんな家嫌
顔合わせるたびに
ケンカする親なんて

ずっと
逃げたかった



松さんちが
どうか
ボクには
わかんないけど

松さんが
そうしたいんなら
そうしよう

一カ月分の食糧とか
いろいろ買い込んで
家から一歩も
出ないの



ずうっと
一緒に
いるの

うん



最後の夏休みだし
楽しく自由で
すごしてみたい

誰にも何も
言われずに

かわいい溺壺



こんな幸せな
生活なら

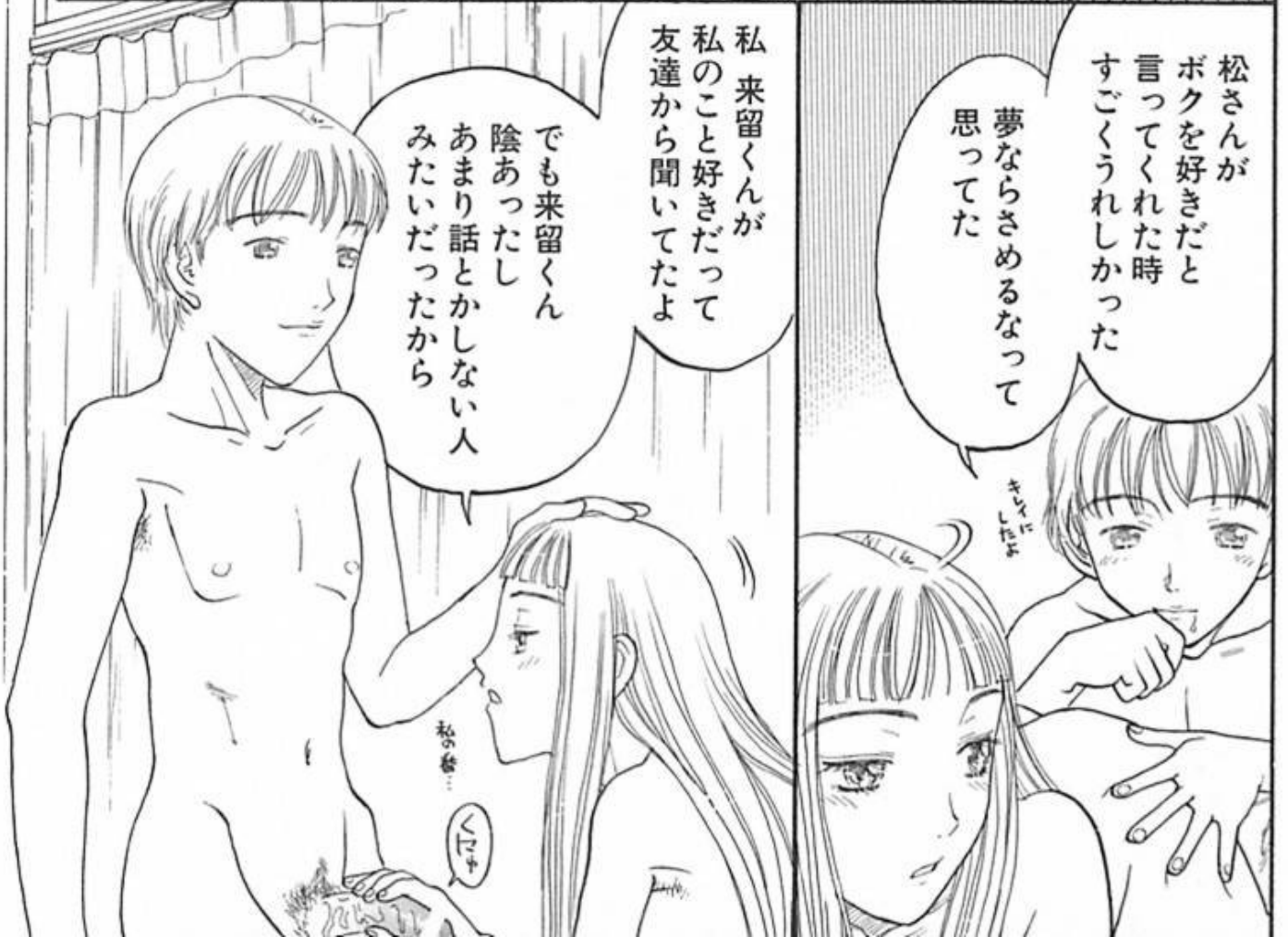
もっと早く
すればよかったね

誰にも邪魔されず
楽しいコトばかり
出来るなんて



でも私達
つきあいはじめたのって
夏休みの少し前ぐらい
だよ

それまでボクは
松さんに憧れてて
夢に描いているだけだった



松さんが
ボクを好きだと
言ってくれた時
すごくうれしかった

夢ならさめるなって
思ってた

私 来留くんが
私のこと好きだって
友達から聞いてたよ

でも来留くん
陰あつたし
あまり話とかしない人
みたいだったから

私...
ん...

ん...

ん...



友達から
来留くんて
どんな人か
教えてもらったの

ボクのことって……
悪口ばっかのような
気がするケド



束縛されてない
感じがして……

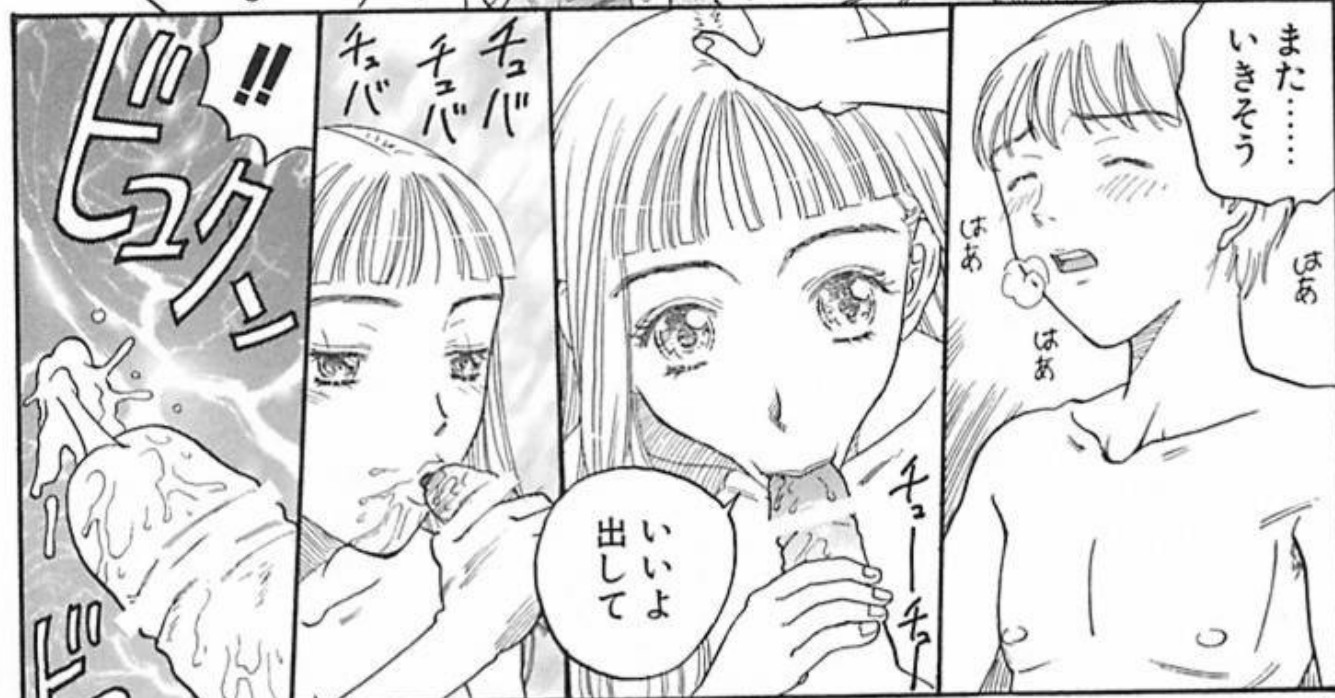
自由で……

れろ…

れろ
れろ



そういう所に
ひかれたのかも
しれない



また……
いきそう

はあ

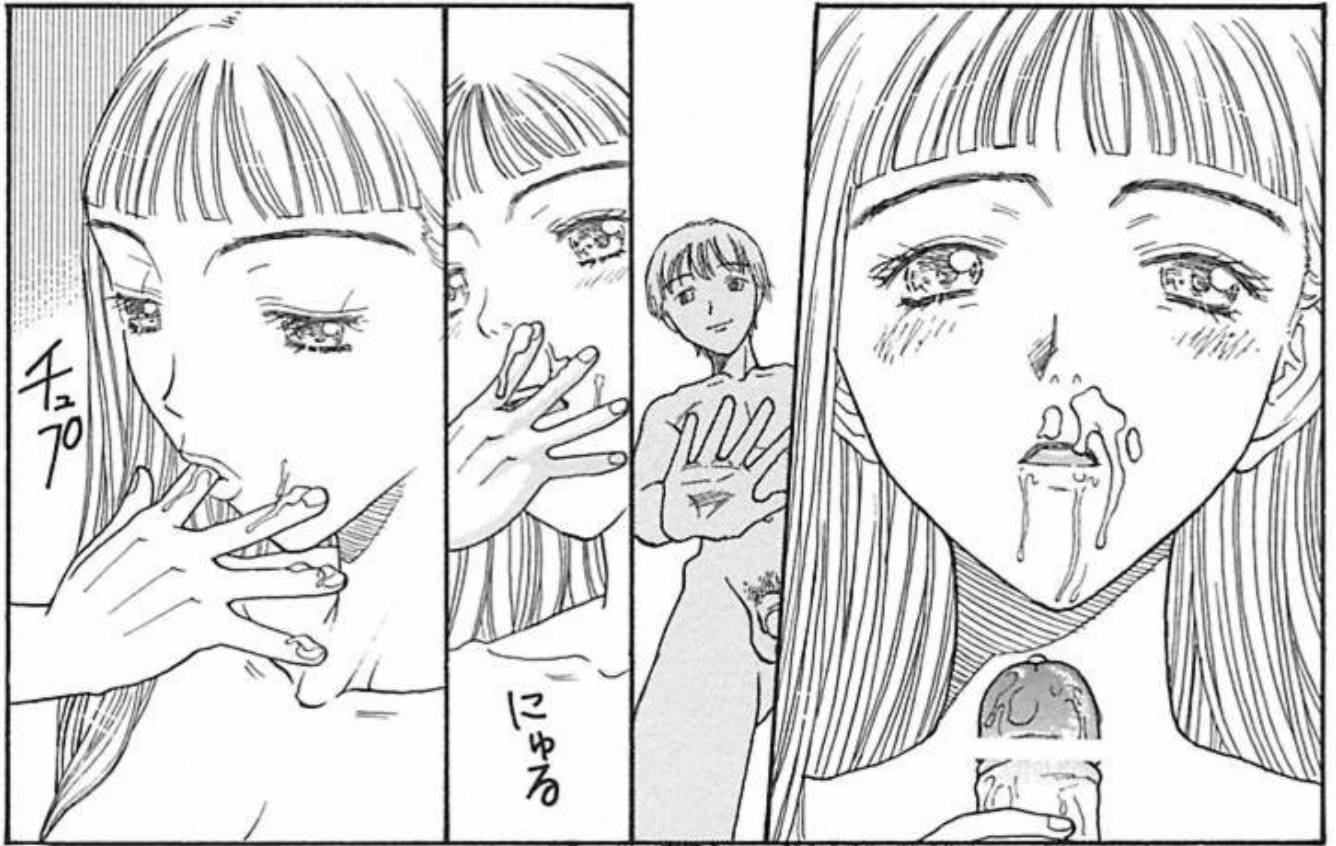
はあ

はあ

いいよ
出して

チューチュ

かわいい溺壺





でも学校がはじまって
いくらボク達のことを
知られてないからって
二人で
いなくなったら
あやしまれるよ

ボクも
松さんといいたい

シャアアア

お願い
ウチへ帰りたく
ないの
ここにいさせて
来留くんは
学校に行っても
いいから
私はここで
待ってるから

ボクも一緒に
いたいから
わかったよ
ボクは松さんのこと
誰にも言わないから

だから……
なんでもする……
何をされても平気



松さん



ズ
ゴ



ヒクン

あっ



ほあ

ほあ

ほあ

ガク

ほあ

松さん……

来留くん……

ほあ

ガク

ガク





はあ

はあ

はあ

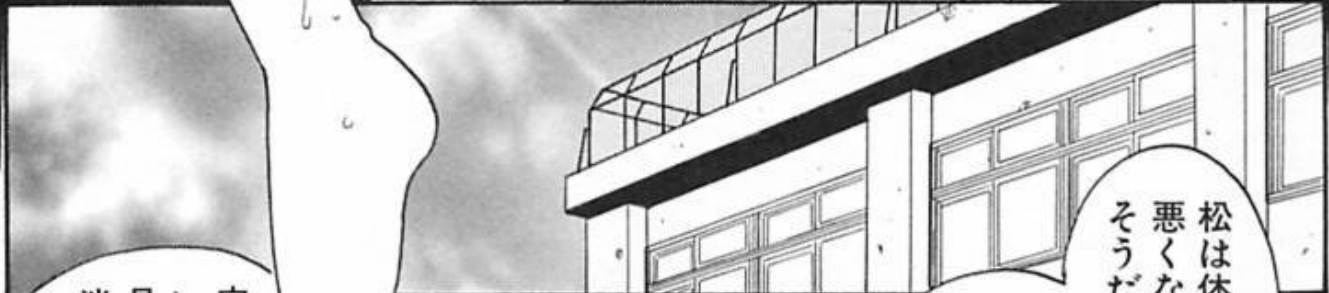
はあ...

はあ

はあ
はあ...

クチュク

クチュク



松は体の具合が悪くなった
そうだから

しばらく
休みをとると
親から連絡が
あった

安静が必要だといふことなので
見舞いに行ったりして
迷惑をかけないように



大丈夫だよ
ボク達のことは
誰も知らない

誰にも
邪魔されないよ



ただいま

おかえり
なさい……



松さんの望み通りだよ

ガボ

ガボ
ガボ
ガボ

★かわいい溺壺／おわり

平らな道





別に何が不満で
ワケじゃないんだ

親だつて学校でだつて
特別嫌つてことが
あるわけじゃない



家を出てみた




ちよんだけ
燕に出ます。
なな子



舗装された道を
私は今まで歩いてきた


だからか
……

なんというか…今まで特に
何もなかった生活から
少しだけ離れてみたく
なつて……



というワケで
ちよこつとやっかいに
なるから

よろしく
お願いします



お前ねなんで
家出したのに
オレんトコ
来んのよ

だってホテルとか
私だけじゃ泊めて
くれないし……

あとでオフクロに
電話しとくからな
心配してんぞ
今頃……

心配するかな

あたりまえだよ
バーカ
大体ウチの親は
二人とも
超がつくくらい
おとなし……

ポルルルッ
ポルルルッ

ホラたぶん
オフクロだよ



学校から帰ってこないから心配してお前の部屋に入って
手紙 見つけたんだってよ……

カキヤ



ウチに来てるよ心配ないから大丈夫大丈夫
オレがちゃんと送りとどけるから

うん
じゃあな



はい
ああ
オフクロ
知ってる



なんでやめたんだよ



「ちよつとだけ旅に出ます」？
オレんトコ来んなら
そう書いとけばいいのによ

本当は
旅に出てみる
つもりだったんだよ

しゅん



気がすんだら

でいつ帰んの？



だって私が一人でウロウロしてたら警官とかに見つかってすぐ家に帰されたり

変な人につかまったりしたら怖いじゃん

平らな道

気がすんだらって
お前学校は
どうすんの？

それなら
心配ないって

明日から
試験休み
だから

その辺は
ちゃんと
計算してる
ワケね

うん

お前
床で寝ろよ

えくく

しよーが
ねエタロ
ベッド一つしか
ねエんだから

それに家出娘が
そんなゼイタク
してはならん

それと明日 オレが
仕事行ってる間に
この部屋
掃除しとけよ

なんで
私があ

誰が
タダで泊めて
やると言った
はっはっは

ずるいつ

ふんっそれで
お前は一人で
生きることの
大変さを知るのさ

そんなこと
知らないと
ワケね



平らな道



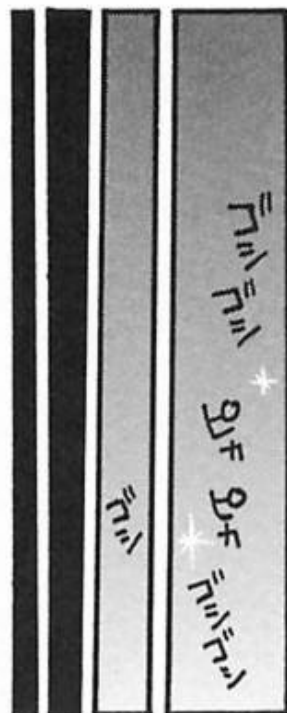






でも

やっぱり
男の一人暮らし
ではあった……





私.....
何やってんだろ
.....
.....



アニキの部屋で
オニーをする私



うしろめたさを
感じながらも

いつもより大きい興奮に
身を奪われて……

は、

はきん

はきん

あ

あ

あ



体は熱くなる

ああ……

きゅい

はア……

最低だ……
こんなの最低
……

なじる思考も
無抵抗なほどに



はア？

はア？

トクン……

トクン……

トクン……

トクン……



んっ
あっ

あ

は

は

最低……

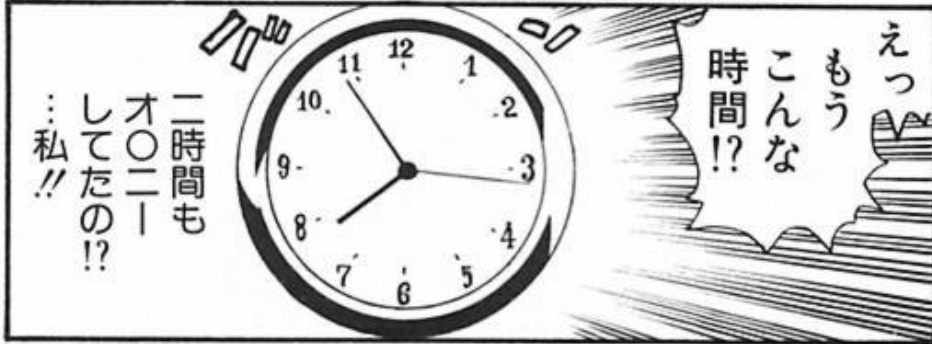
は



平らな道



なんだか……
最低……ひとんちで……
それもアニキの部屋で







特別な何かが
起こつてほしい
ワケじゃないんだ

どうだ？
何か変わった
ことでもあった？

ううん
別に

今の生活に
不満はないし

舗装された道を
歩けるなら
それが最も楽な道

そっか

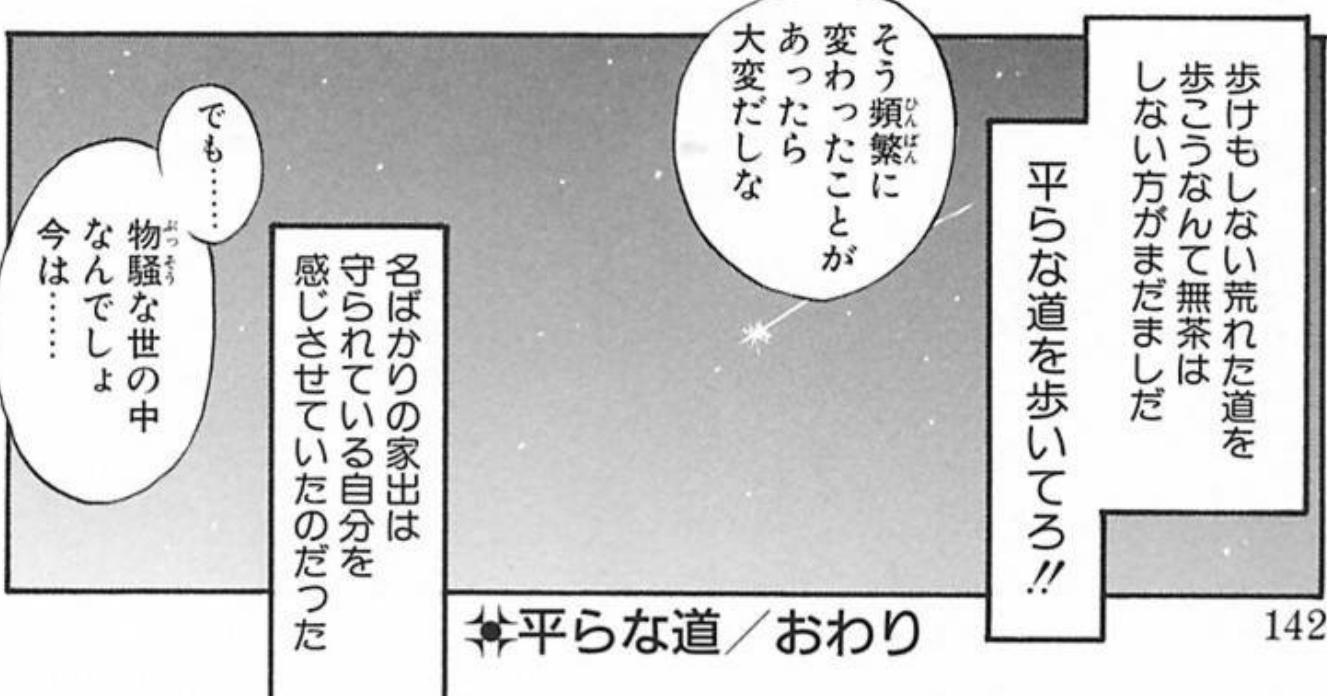


たまに車が
つっこんで来たり
するかも……
小石に足をとられたり
急な坂道ってことも

舗装された道にだつて
災いつてのは
あるもんだし

歩ける間は
歩いていた方が
いいつてことかな

もぐ
もぐ



歩けもしない荒れた道を
歩こうなんて無茶は
しない方がまだましだ

平らな道を歩いてる!!

そう頻繁に
変わったことが
あったら
大変だしな

名ばかりの家出は
守られている自分を
感じさせていたのだつた

でも……
物騒な世の中
なんでしょ
今は……

無防備な抵抗



考えに考えた
あげく

私は学校へ
行くことにした

遅刻するの
も
考えてのことだ

皆の注意をひくために
何よりもあいつの気をひくために

ガッ
ッ
ッ

お……い……

どうしたんだ
その格好……

ザッ
ザッ
ザッ



この格好は
私の心の傷
そのものです

先生は……
着がえてその傷を
かくせと言うんですか？

私の心を
ごまかせと
言うんですか？

いや……
そうは……

私は心の傷が
いえるまで
この格好でいると

決めたんです

キッ

私は
この格好でいることが
恥だとは思いません

変な目で見られても
かまいません
そんな奴の方が
恥だと思えます

じゅ……

授業を続ける……

私だって自分で
何やってんだって思う

でも

こうでもしないと

私の気が
おさまらない

私は許さなからか
あいつを……



んんんん



やっ







んああ

ブッブッ

んんんっ



んんんっ

んんんっ

んんんっ

ブッブッ



ド
ク
ク
ク

☆



か
は
っ



ん
っ



ムカッ

ボ
グ
ッ
ボ
グ
ッ
ズ
ッ



カ
ッ
ッ
ッ

ク
ク
ク
ク
ク

ん
ん
っ









一瞬……
通りがかつた
車のライトが

はつきりと
そいつの顔を
照らした

その顔は
私の知つた顔だつた



クラスの中でも
一番目立たない男

意気地のなさそうな……
暗くてまるで生気のない……
何を考えてんだかわからない……
一番後ろの列のろうか側に
席がある……



お前だろ

昨日……
私を犯したの

何言ってるの……
バカじゃねエの……
そんな格好まで
してさ……

さ……さあ……
なんのことかな
オレ……知らないよ

見間違いじゃ
ないの？

オレ……やって
ないよ……

言っ
てなさい

かまわないのよ
私は明日から
ずっとこの格好で
学校に通うから

しらばっくれるな!!
見たんだよっ
お前の顔 車のライトで
一瞬はつきりと!!



あなたに汚された
この姿を 皆の前に
さらし続けるから

皆は
どう思ってる
だろう

猥褻？

同情？ 悲哀？

いずれにせよ
私を見るまなざしには
違いなんでしょう



でも
あなたは
知っている

何をしたか……

私の乳首の色は？
あそこの感触は？

精液を
流し込んだ
感想は？



気持ち良かったんでしょ

私とできて
うれしかったん
でしょ

ドクンドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

でも私は……



気色わるいわ

へドが出るっ!!

憎いっ恨めしいっ
いらだたしいっ!!

汚らわしいっ!!



ホラ!! よく見なよ!!
あんたがやったことを

あんたが求めた
私の体を



明るい場所で!!



君のことが

スッ!!

オレは.....
オレは.....

アッ

アッ



死ぬなんて
許さないからっ

あんたを一生
苦しませてやるんだ
毎日毎私の傷を
見せつけて!!

あんたの
苦しむ姿を
見るの!!

私の傷を
いやし続けるの!!

枕のキモチ





グッ
グッ
グッ

Large sound effects "グッ" are written vertically at the bottom left of the page, likely representing the sound of the man's hand on her hip.

枕のキモチ





ちよーっと
ガマンできたら
口の中に出させて
あげたのに

そんな
ずるいよオ

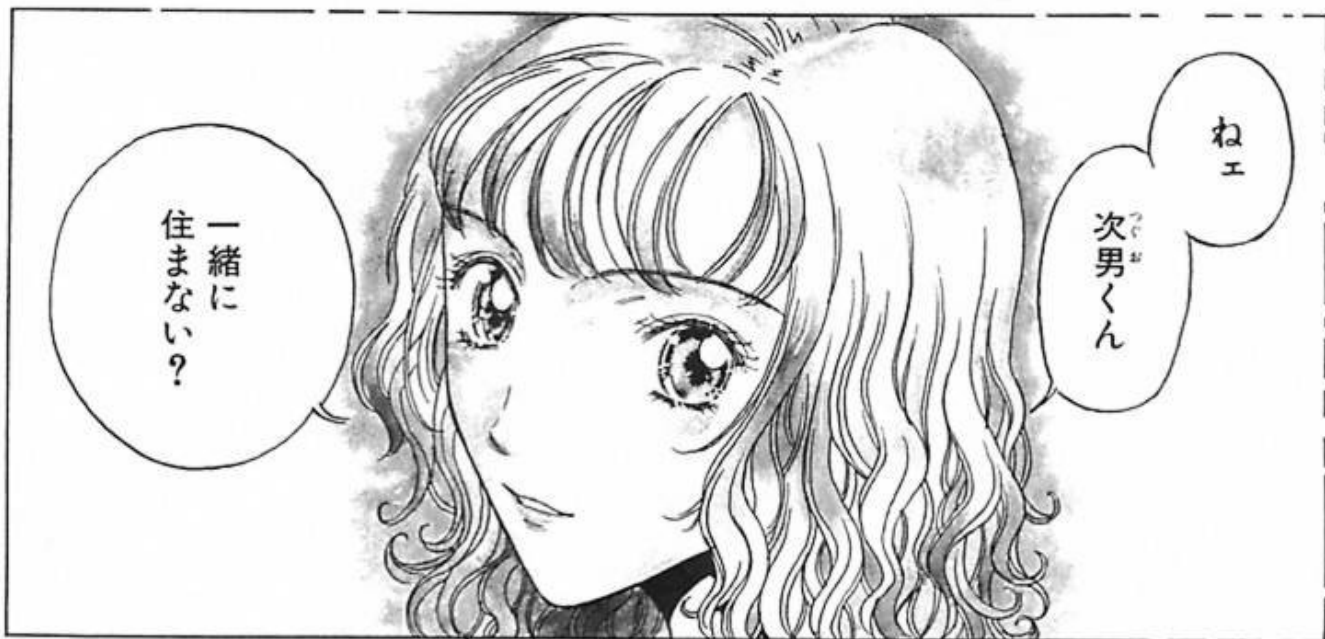
ボクは……

ずるいも
ずるくないも
ガマンしだい
でしょ

もう眠いから
寝るの

枕だ……

まくら 枕のキモチ



ねえ

次男くん

一緒に
住まない？



兄さんの葬儀から
一週間ぐらいたった日

義姉さんは
ボクにこの提案をした

ボクは義姉さんに
憧れの念を抱いていた
断る理由はない



一人でいると
あの人のことばかり
思い出しちゃって

寂しくなるのよ

兄さんはもういない



義父さんと
義母さんには
お話してあるの

あとは
次男くんの
返事しだい

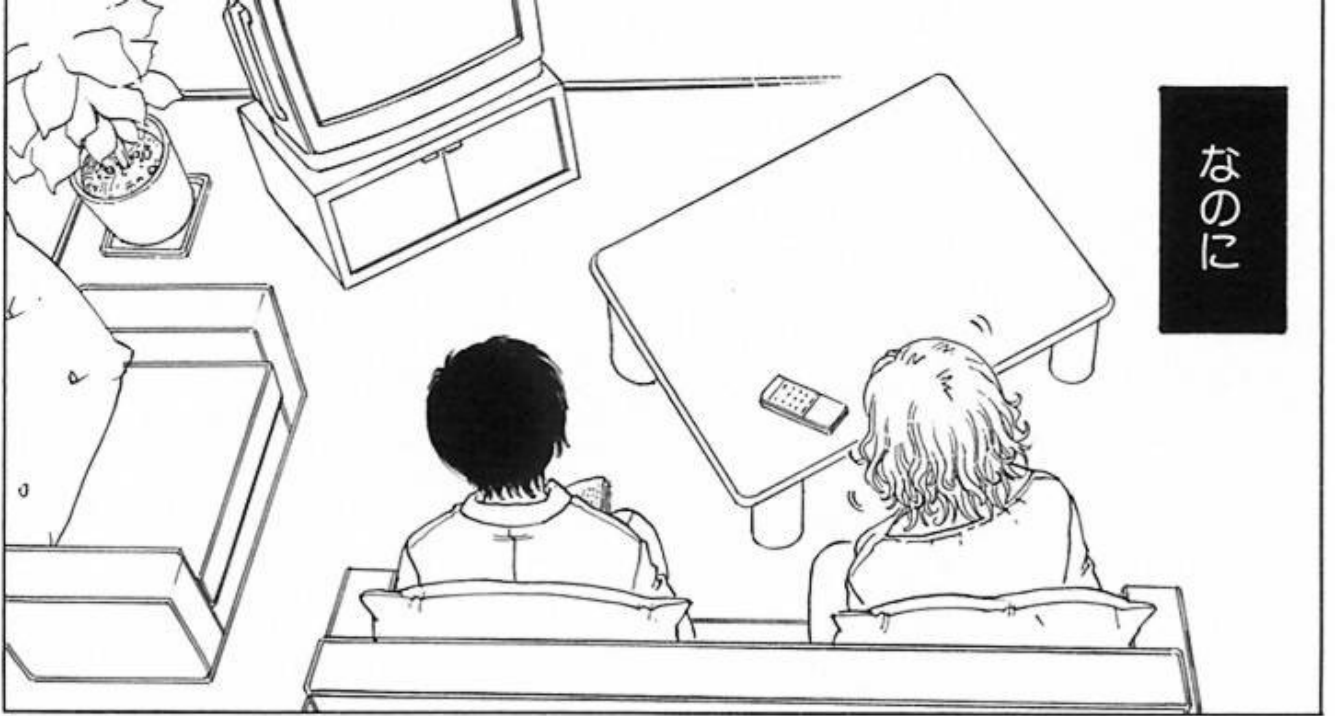
義姉さんと
二人つきりで暮らせる

枕のキモチ





なのに





兄弟だから
面影あるし

次男くん
呼んだの

あの人のこと……
忘れたくなかった
から



ごめんね
次男くん……

え

やばっ
起きてる!!

寝たふりなんか
して……



一緒に
暮らし始めたら
…なんかあの人と
一緒にいる気が
してきて

だって同じこと
言うんだもん

「トイレのカギは閉めろ」とか
「恥ずかしいカッコでうろろするな」とか







夢子さんが……
舐めてる……
ボクのを
しゃぶってる



うれしいです



ボク 夢子さんに
憧れてたんです
そんな夢子さんに
こんなコトして
もらえるなんて……



もう……
そんなトコまで
同じコトするのね……



幸せですっ
ボクはっ



かまいません

ボクは

夢子さんの
枕でも

すんぐ

はあ

はあ

はあ



出すなら
そう言っつてよ

ごめんなさい……
ボク……いっちゃった

心構えが
いるのよ
これ……

ドッ
ドッ
ドッ

もあ

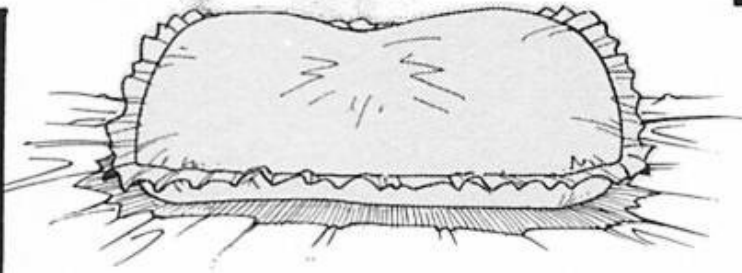
はあ

はあ

はあ

ゴクン

それが
ボクと夢子さんの
関係の始まり
だった



そう…ボクは
夢子さんの
枕になると
御褒美を
もらえる

最近になると
夢子さんは
遊び気分で
ボクを枕にする
変な服を
着せたりして
楽しむように
なった



その方が
ボクには
都合がいい

その時だけは
兄のかわりではない
自分自身として
夢子さんといれる



兄の存在は
いまだにある

ボクが変な服
着るのなら
その時出した
交換条件を

夢子さんが受けた時

モ子
モ子

夢子さんの
全部が見たい

.....

これ以上は
ダメよ

次男くんから
さわったりしたら
これっつきりだからね

私は
あの人の
ものだから

モ子

モ子

モ子



何か
ほっとする
あの人が
いないなんて
嘘みたい

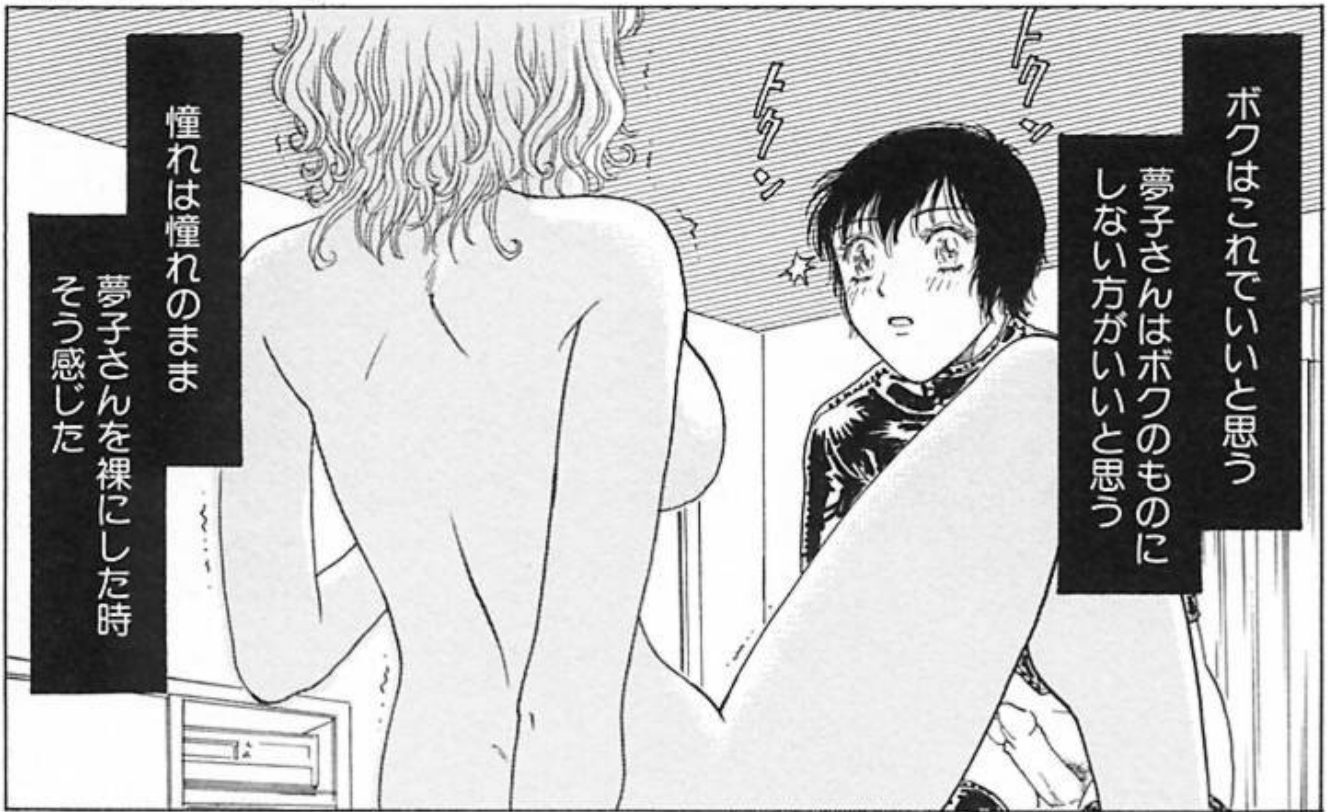
！
ここのところ
夢心地って
いうのかしら

夢子さんはいつも
兄のことを考え
兄の話をする

兄は息づいてる

ボクと夢子さんの間に
しっかりと兄を感じている

枕のキモチ



ボクはこれでいいと思う

夢子さんはボクのものに
しない方がいいと思う

憧れは憧れのまま

夢子さんを裸にした時
そう感じた



ボクは夢子さんの
顔ばかり見ていた

憧れの夢子さんの
恥ずかしそうな顔を

体ではなく
顔を見ていた

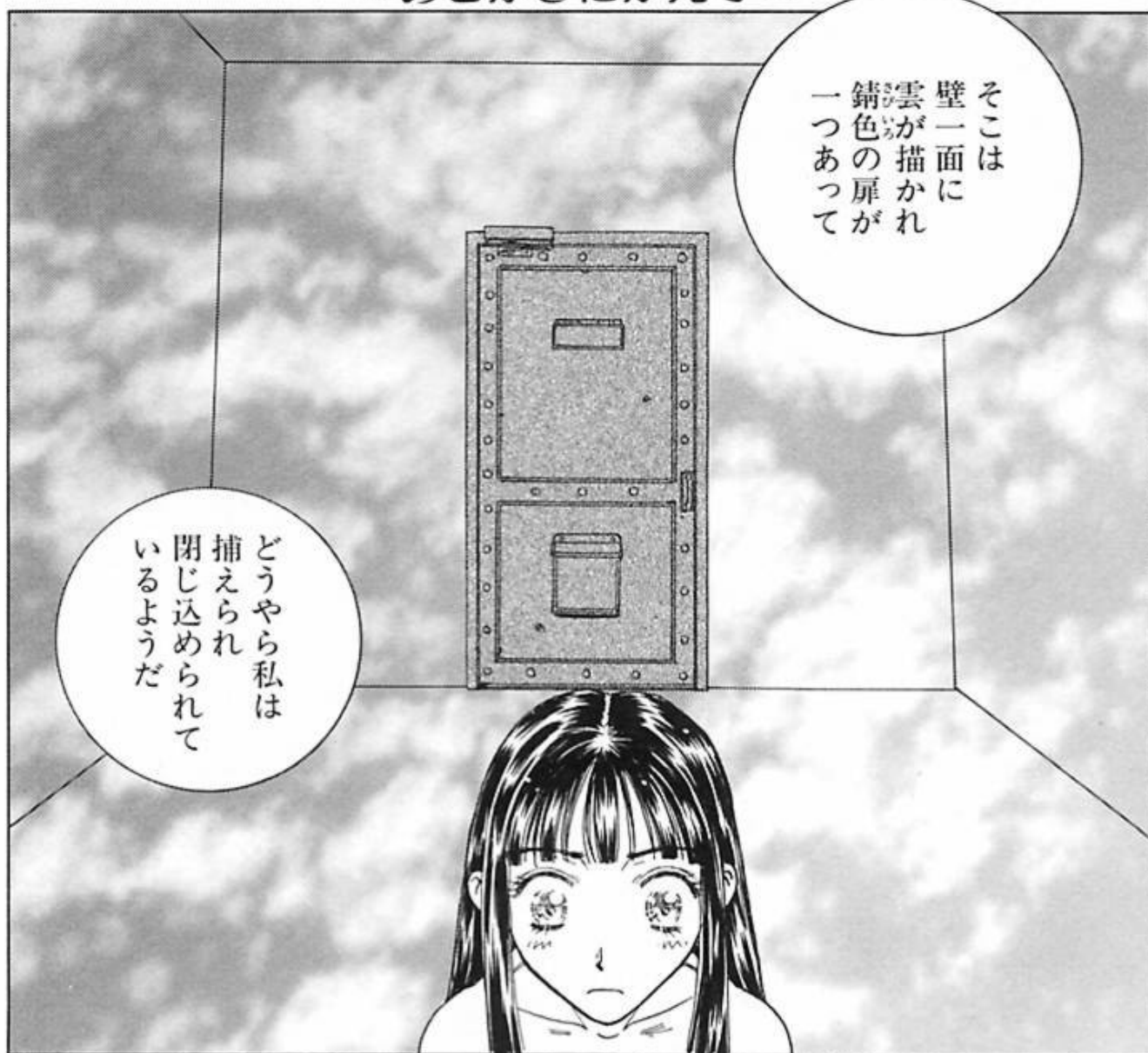
夢子さんの
キレイなその顔……

その眼でボクを見つめてる
その口唇でボクを……

ボクの心は
そこにあるから

この枕は
いい夢を見せて
くれるわね

●あとかきにかえて●



○魔法使いの天上空間○





ブヒルルル

やがておもむろに扉が開いてそこからふらふらと縞馬が入って来た



ブヒヒンブヒヒンと何か悩んでいる様子だった

縞馬は細長いペニスをぶらぶらさせながらうろろうろして



たぶん縞馬の悩みだから自分は白地に黒なのか黒地に白なのかそんなことだろう

そんなことを考えながらしばらく見ていると

ふと私に気づきペニスを勃起させてやって来た

あれ？
シマウマって
こんな
だったけ？

魔法使いの天上空間





縞馬は
おもいきりいななくと
私の中に濁りを
はき出した



真っすぐ
扉へ向かっていき

すると縞馬は
さっきまでの
ふらついた
足どりととは違う
はつきりとした
歩みで



何か
不思議な力を
感じて
嬖に目をやった

私は
少し疲れながらも
晴れた気分で
縞馬を
見送っていた



そして
ニヤリと
あざやかに笑い
出ていった

ニヤッ

魔法使いの天上空間





柔らかな襪

著者 小林少年
発行者 野田正修
編集 コミックハウス
発行所 株式会社茜新社

東京都千代田区三崎町2-9-12 弥栄ビル 6 F

電話 03-3222-1977

FAX 03-3222-1985

振替 00170-1-39368

印刷 三陽印刷株式会社

写植 株式会社公栄社

©KOBAYASHI SHOUNEN

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合はお取りかえいたします。
定価・発行日はカバーに表示してあります。

アカネコミックス
茜新社

柔らかな襲 小林少年

- おとにあわせうたいおどる
- やわらかい感触
- どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞
- PAGE16
- 壁に鼠穴
- さらば旧人'97
- かわいい溺壺
- 平らな道
- 無防備な抵抗
- 枕のキモチ
- 魔法使いの天上空間
(描き下ろし)





アカネコミックス

柔らかな鬘

定価：本体857円+税

1998年 2月20日 初刷発行

著者 少林少年

発行所 茜新社

〒101-0061 東京都千代田区三崎2-9-12

TEL.03(3222)1977

FAX.03(3222)1985

振替 00170-1-39368

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。



9784871822978



1920979008571

ISBN4-87182-297-4 C0979 ¥857E

アカネコミックス

茜新社

定価： 本体857円 + 税

柔らかな襲 小林少年

- おとにあわせうたいおどる
- やわらかい感触
- どうしても言ってしまう彼女の一番嫌いな台詞
- PAGE16
- 壁に鼠穴
- さらば旧人'97
- かわいい溺壺
- 平らな道
- 無防備な抵抗
- 枕のキモチ
- 魔法使いの天上空間
(描き下ろし)

